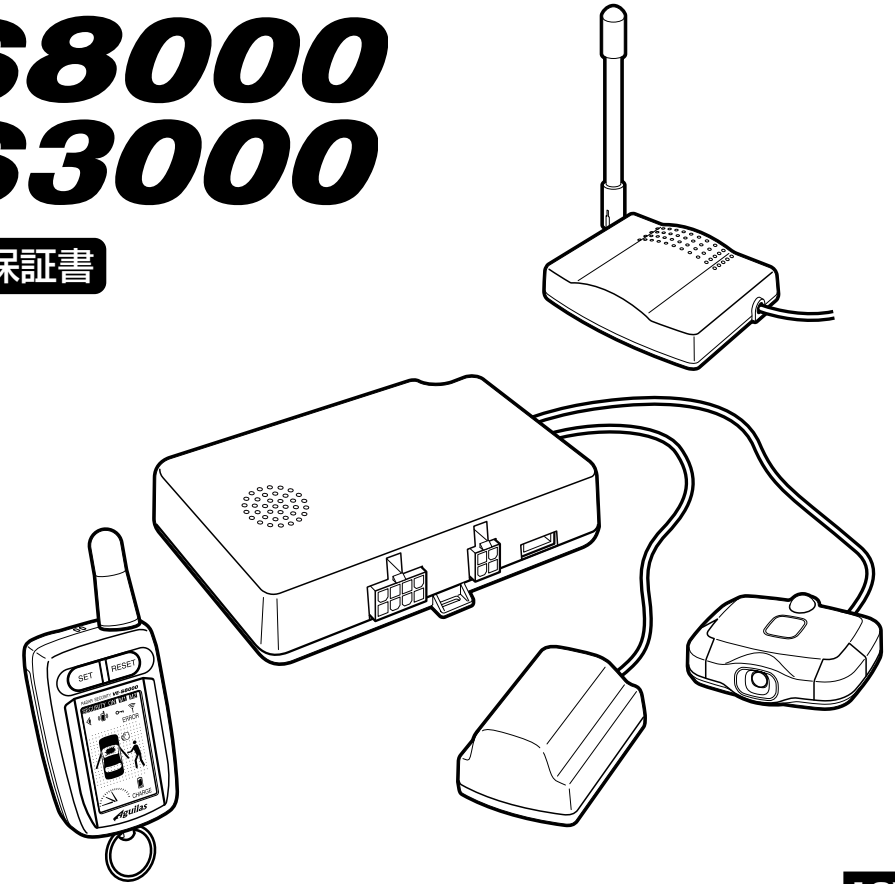




マイクロ波センサー搭載
カーセキュリティシステム

VE-S8000 VE-S3000

取扱説明書 / 保証書



12V車専用

このたびは、Aguilas「VE-S8000」、「VE-S3000」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、新開発デュアルエリアマイクロ波センサーを搭載したレーダーセキュリティシステムです。車輛への接近を検知するとフラッシュランプ・ハザードランプ・音声(または警告音)の3つの威嚇機能で不審者を撃退し、愛車を守ります。

デュアルエリアマイクロ波センサーは車外(警告)、車内(警報)2つのエリアを識別して、警告、警報の2段階で威嚇します。さらに、本機内蔵の音圧センサー(特許第3361294号)により、車輛への衝撃やドア開検知が可能です。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備ならびに移動体検知センサー用無線設備です。



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

取り付けできる車を、お確かめください。

本機は12V車専用機器です。

12V車以外の車輛には取り付けできません。

また、12V車であってもマイナスアース以外の車ではご使用になれません。

はじめに

ご使用の前に(安全上のご注意)	4
セット内容	6
VE-S8000/VE-S3000の概要	8
各部の名称と働き	10
リモコン表示のみかた	11
警告、警報の定義	15
ご使用前の準備	17
リモコンを充電する	17
リモコンの電源をONにする	17
バッテリー残量表示を確認する	17

リモコンの操作方法

セキュリティを作動～警報～解除 までの流れ	18
基本操作	20
リモコン使用時の注意とヒント	21
ドアをロックする(セキュリティの作動)	22
接近通報機能	24
電波監視機能	24
パニック警報機能機能	24
異常の検知と通報時のディスプレイ表示	25
異常を検知したときの警告と警報動作	26
ドアをアンロックする (セキュリティの解除)	28
エンジンスターター機能を使う (VE-S8000のみ)	30

各種設定方法

セキュリティ機能の設定	32
■オールリセット	33
■操作確認を変更する	33
・操作の確認方法	33
・作動(解除)音の音量	33
・作動(解除)音・警告音の音色	33
■警告・警報のしかたを変更する	34
・言語選択	34
・威嚇方法	34
・ハザードランプの点滅設定	35
・警報時間	35
・警告音・警報音の音量	35
・警報音の音色	36
・誤動作判別精度	36
・誤動作防止機能	36

■セキュリティの作動に関する設定

・セキュリティの作動を開始する条件	37
・スタンバイ時間	37
・アクセサリ電源ON時の動作	37
感度調整	38
最適な監視状態に調整(設定)する	38
監視エリアの調整方法	39

エンジンスターター機能
の設定 (VE-S8000のみ)

エンジンスターターの設定	40
セル時間の設定	40
アイドリング時間の設定	40
グロー時間の設定	40
エンジン始動判定の設定	41
エンジンの始動について	41
ターボタイマー機能	42
ターボタイマー機能とは	42
ターボタイマー機能のON/OFF設定	42

その他

リモコンの電池交換	43
スリープモードについて	44
安全機能について(VE-S8000のみ)	45
バッテリー交換や本機の付け替え時の 再設定について(VE-S8000のみ)	46
パーキング(P)・ポジション自動検出機能 の確認	46
P・ポジション自動検出機能が使用できない 状態でターボタイマー機能を使用しな い場合の接続・設定	47
P・ポジション自動検出機能が使用できない 状態でターボタイマー機能を使用する 場合の接続・設定	47
スペアリモコンの追加	48
別売スペアリモコンを使う	50
セキュリティを作動する	50
セキュリティを解除する	51
別売オプション	52
こんなときは	54
始動エラー音について(VE-S8000のみ)	57
仕様	58
アフターサービスについて	60
保証書	裏表紙

セキュリティを使う

○セキュリティを作動させるには 22ページ



○セキュリティを作動させずにドアをロックするには 22ページ

○スーパーの駐車場など人の出入りが多い駐車場に
駐車する場合は 22ページ



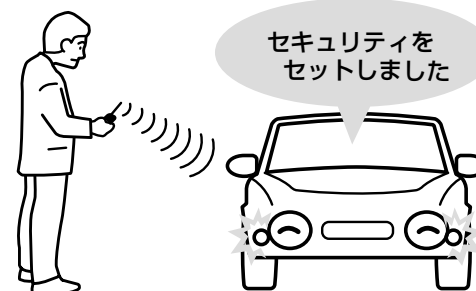
○異常を検知したときは 26ページ



○警報履歴を確認するには 29ページ

○リモコンの電池切れや故障などで、リモコンが
使用できないときにセキュリティを解除するには
..... 29ページ

操作確認を変更する



- 確認方法を変更する 33ページ
- 作動音の音量を変更する 33ページ
- 作動音・確認音をボイスにする 33ページ
- 作動音の音色を変更する 33ページ

警告・警報のしかたを変更する



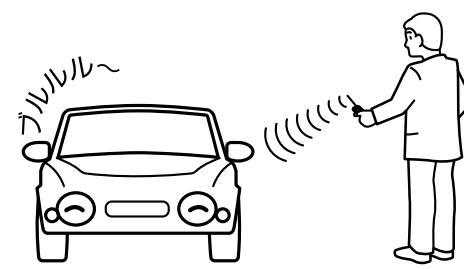
- 言語選択 34ページ
- 威嚇方法を変更する 34ページ
- ハザードランプの点滅を変更する 35ページ
- 警報時間を変更する 35ページ
- 警告音・警報音の音量を変更する 35ページ
- 警報音の音色を変更する 36ページ
- 近所迷惑に配慮したワンショット警報に設定する 35ページ
- 誤動作防止機能 36ページ

車を整備に出すときや、人に貸すときは



..... 37ページ

エンジンを始動する(VE-S8000のみ)



..... 30ページ

ご使用の前に (安全上のご注意)

※VE-S8000のみの記載がないものは、VE-S8000とVE-S3000の共通事項です。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告： 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意： 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 警告

🚫 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、電波による医療用機器への影響を、医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

🚫 運転中は絶対に操作をしない…わき見運転は重大事故の原因になります。

🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない。…感電や故障の原因となります。

🚫 機器本体および付属品や別売品を改造しない。…火災や感電、故障の原因となります。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に、確実に取り付け…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

🚫 万一、ケースを破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

🚫 サービスマン以外の人は、絶対に分解したり、修理しない。また、改造はしない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機の設定をしない…万一、警報機能が働いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

🚫 むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。

VE-S8000のみ ⚠ 警告

エンジンスターター機能使用時は、以下の内容を必ず守ってください。

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

🚫 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

🚫 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

🚫 お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

🚫 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

🚫 マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

🚫 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、リモコンの電池を抜いておく、もしくはリモコンの電源をOFFにしてください…

- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません…エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が動かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

🚫 エンジンスターター始動中はシフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が動かず、思わぬ事故につながる場合があります。

❗ 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

⚠ 注意

- ❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る
- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターや車種別専用ハーネスがヒューズ切れを起こし損傷する恐れがあります。
 - すべての窓を閉めてください。
 - すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

ご注意 使用上の制限

■ 使用するときには、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、ドア開を正しく検知できません。

■ 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが動き、警報することがあります。このような場合は、センサー感度を調整してお使いください。

■ 本機のリモコンは、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、リモコン操作ができにくくなる場合があります。

■ 車輦の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近検知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。

■ ウィンドウに雪が積もっていると、接近を検知できにくい場合やできないことがあります。

■ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用する、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、エンジンが始動しているときドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。

VE-S8000のみ

- ターボタイマー機能は、ご使用になる車輦により、まれに正常に働かないことがあります。
- イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときセルがホールドする車輦では使用できません。
- 市販のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。

※ 公道とは、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。



ご注意 電波法について

■ リモコン、マイクロ波センサーユニットや、通信ユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■ 海外では使用しないでください。

■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 リモコンの取り扱いについて

■ リモコンに、落下などの衝撃を与えないでください。

■ リモコンを、水につけたり、雨水などで濡れたりすることのないようにしてください。

■ リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■ リモコンは、次のような場所に放置しないでください。

- 暖房器具の近くなど、温度の高くなる場所。
- 直射日光の当る自動車内など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の高い場所。
- 電気製品などの近く。

■ リモコンが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジン、シンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

ご注意 コンライトキャンセル機能について (VE-S8000のみ)

■ コンライトキャンセル機能を配線していない場合

オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点滅して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※ 暗くなると自動的にライトが点滅するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

ご注意 スリープモードについて

本機は、14日間エンジンが始動(ACC、またはONの検出)されないと、バッテリー保護のためスリープモードが働きます。スリープモードが働いているときは、監視、警報動作などすべての機能を停止して本機リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。

※ 定期的な車を走行させ、バッテリーの充電を心がけてください。

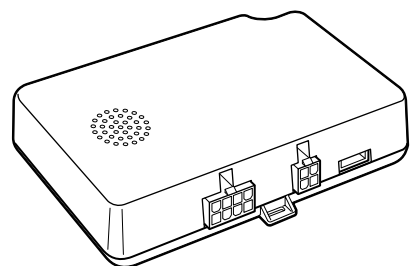
※ 長期間、車を使用しない場合はセキュリティを解除しておくか、定期的にエンジンを始動して、車輦のバッテリー上がりにご注意ください。

本機を取り付けたことによる、車輦や車載品の故障、事故等の付随的障害については、一切その責任を負いません。

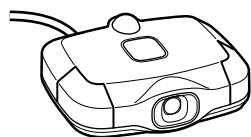
セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

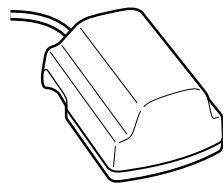
※()内の数字は個数を表します。



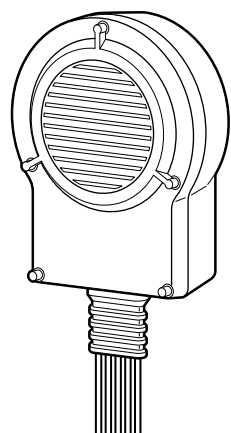
●メインユニット (1)



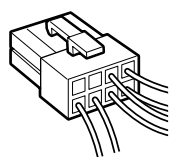
●フラッシュユニット (1)



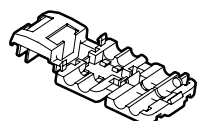
●マイクロ波
センサーユニット (1)



●ボイスユニット (1)



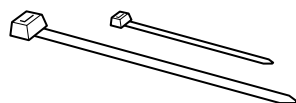
●センサーハーネス1 (1)



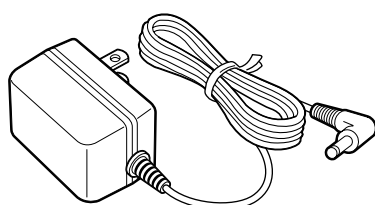
●エレクトロタップ
VE-S8000... (6)
VE-S3000... (4)



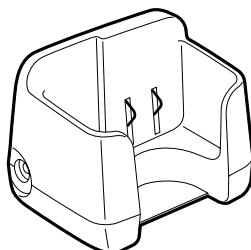
●コードクリップ (4)



●タイラップ
VE-S8000... (大4、中6、小1)
VE-S3000... (大2、中5)



●ACアダプター (1)



●クレードル (1)



●専用ニッケル水素電池 (1)
※リモコンに装着されています

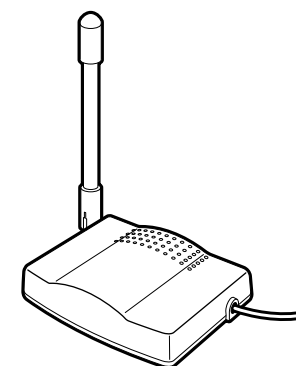
- キーレスエントリー線 (1)
- ドアスイッチ接続延長コード (1)
- センサーユニット取付用サンバイザークリップ (1)
- 通信ユニット取付用サンバイザークリップ (1)
- 調整ドライバー (1)
- フラッシュユニット取付用マジックテープ (1)
- ボイスユニット延長コード (1)
- セキュリティステッカー (1)
- 取扱説明書/保証書 (本書)
- 取付・接続説明書 (1)

- ボイスユニット取付用付属品
 - ・ブラケット (1)
 - ・取付ステイ (1)
 - ・M6ボルトセット (2)
 - ・M5ネジ (2)
 - ・スペーサー (2)

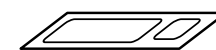
VE-S8000のみ



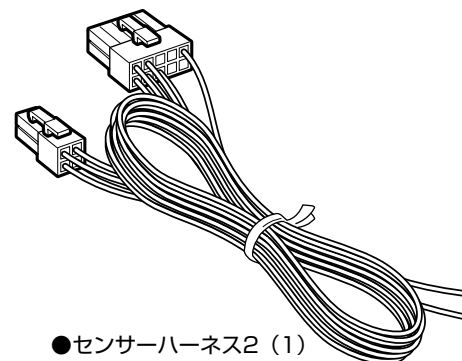
●リモコン (1)



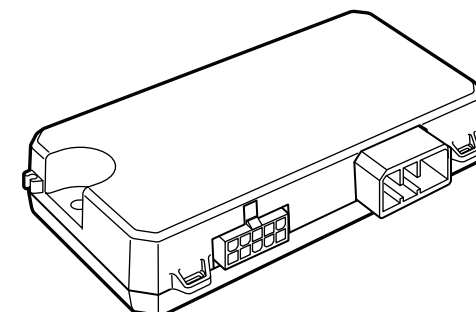
●通信ユニット (1)



●ご注意ステッカーシート (1)



●センサーハーネス2 (1)

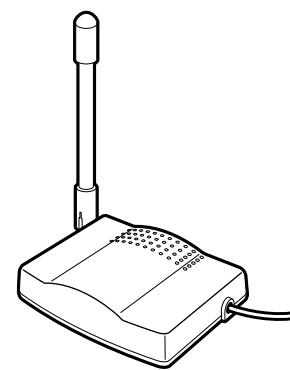


●スターターユニット (1)

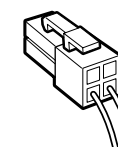
VE-S3000のみ



●リモコン (1)



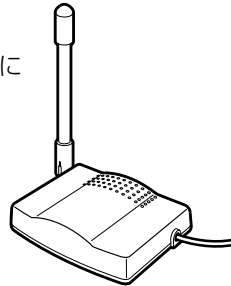
●通信ユニット (1)



●センサーハーネス2 (1)

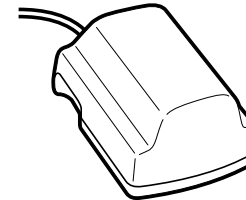
●通信ユニット

車輛の異常をリモコンにお知らせします。



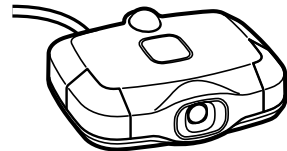
●マイクロ波センサーユニット

不審者の接近、車内侵入を検知します。



●フラッシュユニット

あたかもカメラで撮影された印象を与えるフラッシュランプで威嚇します。

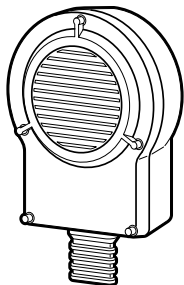


●ボイスユニット

最大100dBの大音量サイレンです。

日本語または英語で警告、サイレン音で警報します。

※ 警告音は単音/日本語ボイス/英語ボイスから選択できます。



●ハザードアンサーバック・威嚇機能内蔵

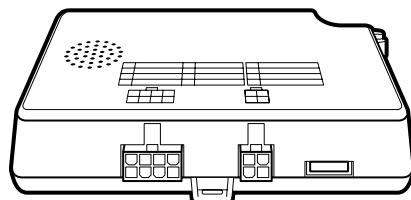
セキュリティの作動・解除をハザードランプの点滅(1回/2回)でお知らせします。また異常発生時は、連続した点滅で威嚇します。

※ セキュリティの作動・解除や異常検知時に車輛のハザードランプを点滅する/しないを選択できます。(35ページ参照)

●メインユニット(音圧センサー)

衝撃、ドア開を検知します。

わずかな気圧の変化を検知して、マイクロ波センサーとの組み合わせにより、ドア開を検知します。また、車輛の弱い衝撃、強い衝撃を判別して警告・警報します。



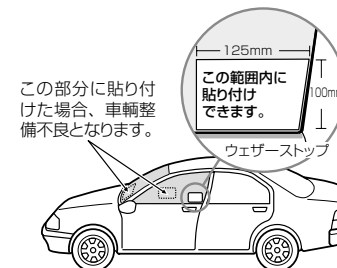
●セキュリティステッカー

付属のセキュリティステッカーは車輛の側面ガラスまたはリアガラスに貼り付けることができます。

ポイント

車輛保安基準により、盗難防止用ステッカーの貼り付け位置が決められています。

- ・前席側面ガラスには指定範囲内に限り、貼り付けできます。
- ・後席側面ガラス、リアガラスはお好きな場所に貼り付けできます。
- ・前面ガラスには貼り付けできません。



ステッカーを前席側面ガラスに貼り付ける場合はガラス開口部(ウェザー・ストップ、モールなどと重なる部分は除く)下縁から100mm以内で、後縁から125mm以内の範囲に貼り付けることができます。

- ・運転席側、助手席側とも、貼り付けできる範囲は同じです。
- ・指定範囲からはみ出さないように貼り付けてください。

オプション

別売オプションにより、さらにシステムアップできます。

検知能力をアップしたい

ジャッキアップやリフトアップされた場合にも警報を鳴らしたい場合は

●電子傾斜センサー：A-28SF

ボンネットを開けられた場合にも警報を鳴らしたい場合は

●ボンネットスイッチ：A-29SF

車内侵入を絶対に阻止したい！ 二重の安心には

●ドアスイッチ接続線セット：A-30SF

車輛盗難の対策もしたい

模造キーなどにより、エンジンの始動をできないようにしたい場合は

●無線リモバイザー：A-23SF

警報能力をアップしたい

さらに大音量で警報を鳴らしたい場合は

●大音量サイレン：A-26SF

さらに大音量で、万一のボイスユニットの破壊やサイレンの切断で警報を鳴らしたい場合は

●バックアップサイレン：A-27SF

●ドアスイッチ接続線

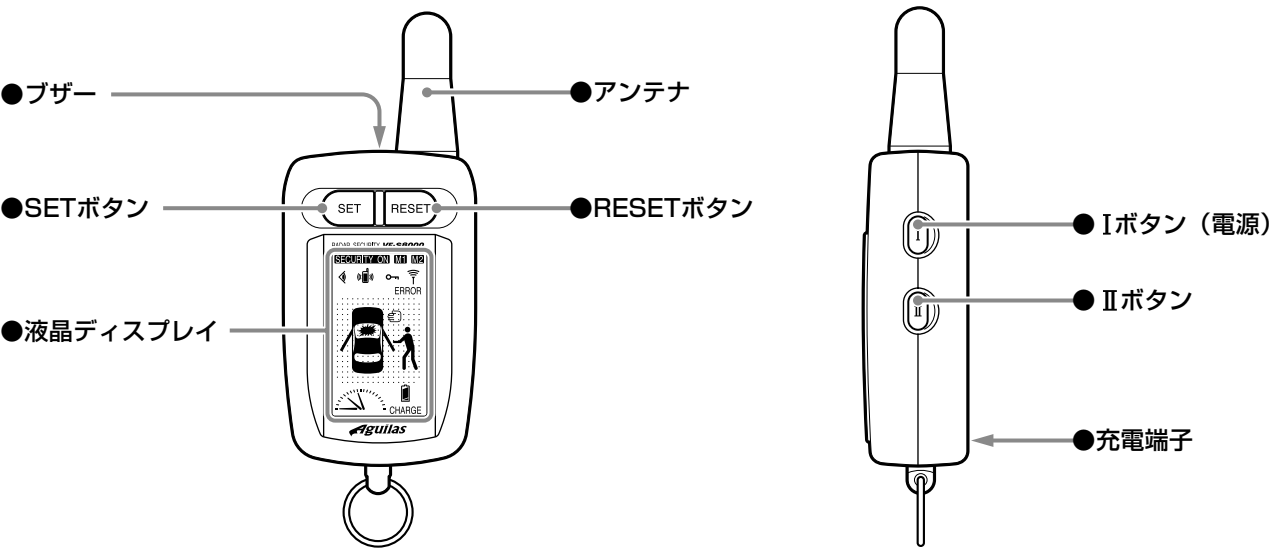
マイクロ波センサーでドア開を検知できないドアやトランクなどに接続できます。

— 日頃から防犯をお心がけください —

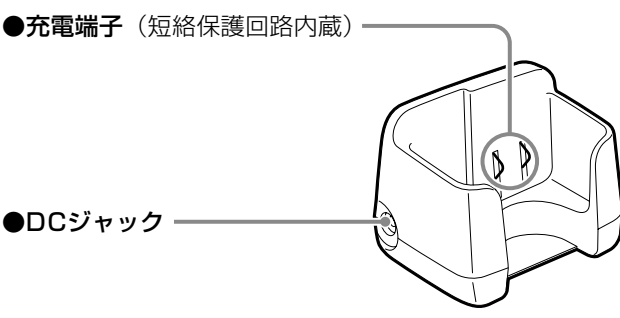
本機は、車に加えられた異常を検知して警告または警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して常に万全ではありません。日頃から防犯をお心がけください。

- 1 エンジンキーをつけたままの状態、車から離れない。
- 2 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- 3 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- 4 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- 5 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

リモコン

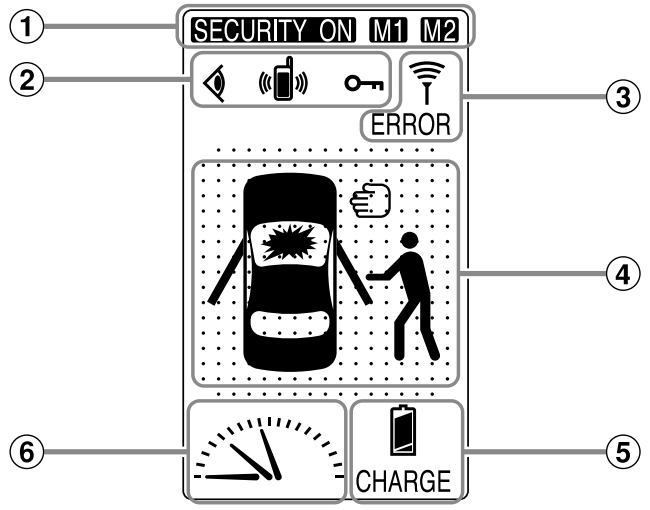


クレードル



リモコン表示のみかた

本機リモコンは、セキュリティの状態や機能の設定状態をアイコン表示でお知らせします。



バックライトについて
リモコンのいずれかのボタンを押すと、バックライトが約3秒間点灯します。また、電波を受信した場合も約3秒間点灯します。バックライトは点灯後、バッテリーセーブのため消灯します。

①セキュリティ作動状態表示
(☛ 23ページ「2つの監視モード」)

デュアルモードで作動中	SECURITY ON M1
シングルモードで作動中	SECURITY ON M2
セキュリティ解除状態	表示せず

②機能表示

電波監視機能設定中 (☛ 24ページ「電波監視機能」)	
接近通報機能設定中 (☛ 24ページ「接近通報機能」)	
ドアロック状態 (☛ 23ページ「ドアロック連動」)	

③送受信状態表示(☛ 21ページ「送受信状態の表示」)

電波送信中	
電波受信中	
通信エラー表示	ERROR

④通報表示
(☛ 25ページ「異常検知と通報時のディスプレイ表示」)

接近を検知	
弱衝撃を検知	
強衝撃を検知	
ドア開・侵入を検知	

⑤バッテリー残量表示
(☛ 17ページ「リモコンを充電する」)

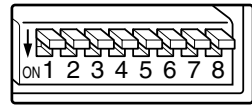
電池残量が少ないとき	
電池残量が十分なとき	
充電中	

⑥スターター表示(VE-S8000のみ)
(☛ 30ページ「エンジンスターター機能を使う」)

アイドリング中	
エンジン停止	

メインユニット (車載機)

●ディップスイッチ



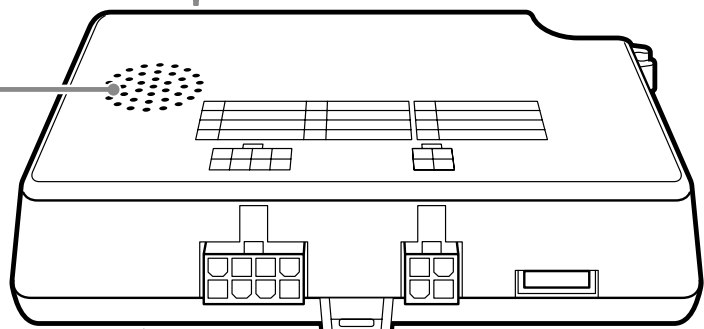
OFF
ON

No.	スイッチ機能
1	未使用 OFFでご使用ください
2	ドアロック時の動作
3	ACC ON時のキーレス動作
4	ドアスイッチ動作論理
5	エンジンスターター併用
6	リロック機能
7	ステータスインジケータ動作
8	テストモード OFFでご使用ください

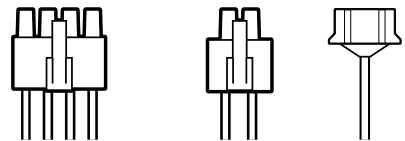
※取付店で設定します。
※初期設定はすべてOFF側に設定されています。

●ブザー

各種機能設定時の設定音やセキュリティの作動音を出力します。



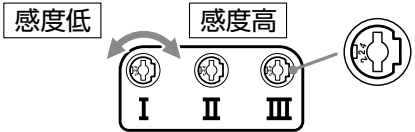
コネクター1 コネクター2 コネクター3



●音圧センサー (裏面)

ボディ、ウィンドウへの衝撃やドア開時のわずかな気圧変化を検出します。メインユニットの3つのボリュームでセンシングごとの感度調整ができます。

※取付店で調整します。
※通常のご使用では調整する必要はありません。

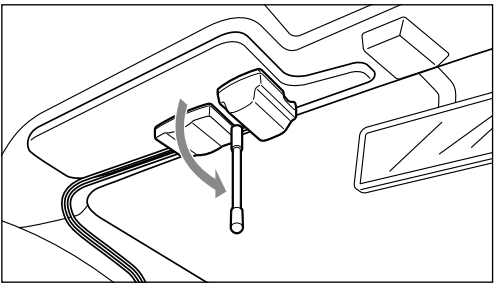
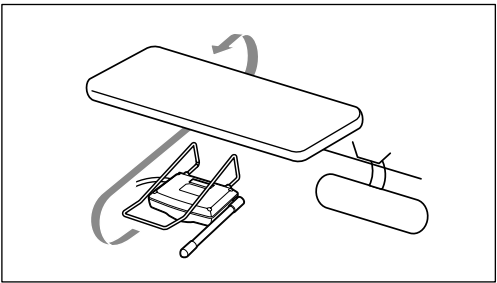
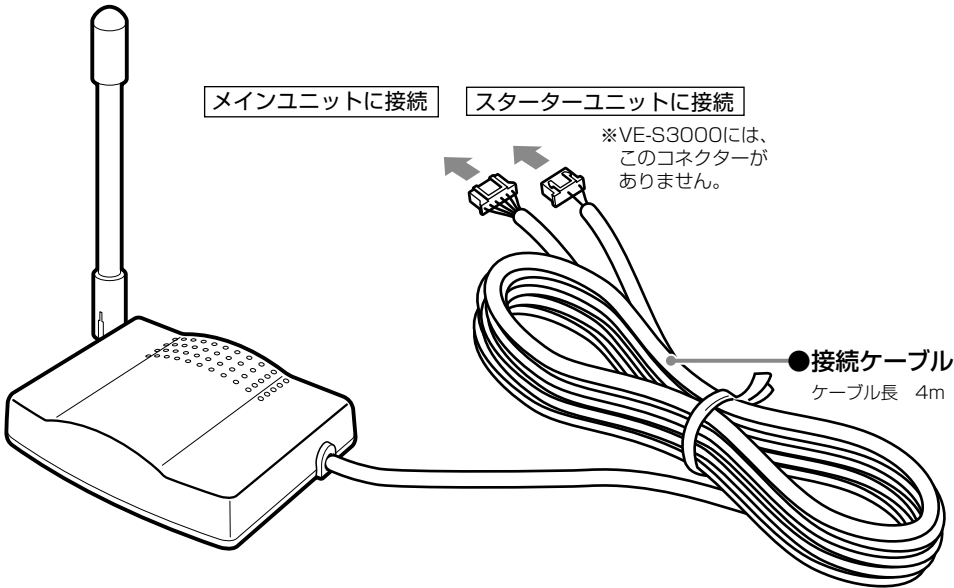


初期設定は、平らな部分がほぼ右側のような位置に設定してあります。

I	弱い衝撃
II	ウィンドウの破壊など強い衝撃
III	ドア開検知

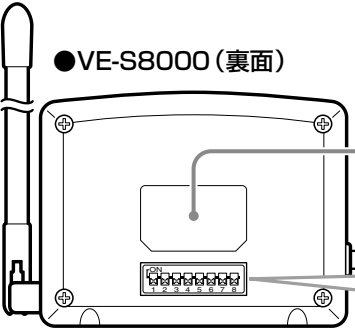
通信ユニット (車載機)

VE-S8000とVE-S3000の通信ユニットは、裏面のディップスイッチが異なります。



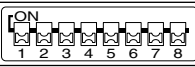
通信ユニットは、助手席サンバイザーに取り付けて、アンテナを垂直にして使用してください。

●VE-S8000 (裏面)



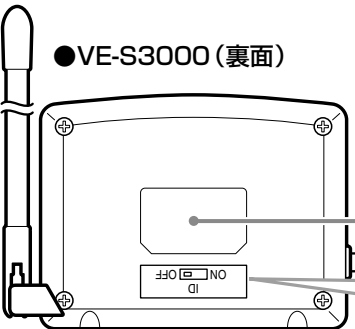
●注意 技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

ディップスイッチ



No.	スイッチ機能	初期設定
1	セル時間、アイドリング時間、グロー時間設定	OFF
2	ターボタイマー設定	OFF
3	エンジン始動判定設定	OFF
4	未使用	OFF
5	※OFFでご使用ください。	OFF
6		OFF
7		OFF
8		OFF

●VE-S3000 (裏面)



リモコン登録用
スライドスイッチ
※通常時はOFFにしてください。

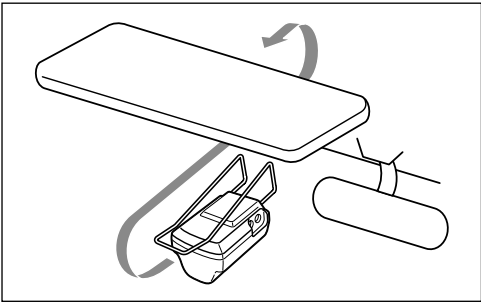
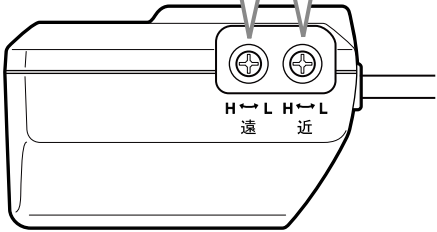


マイクロ波センサーユニット (車載機)

車外・車内2つのエリアで、車輦への接近やドア開、車内侵入を検知します。

●車外検知調整ボリューム
車輦への接近やドア開を検知するための調整ボリュームです。

●車内検知調整ボリューム
車内侵入を検知するための調整ボリュームです。



付属のサンバイザークリップで、サンバイザーに取り付けて使用します。

ポイント

右ハンドル車は助手席サンバイザー中央寄りに、左ハンドル車は運転席サンバイザー中央寄りに取り付けると、車外検知が左右均等に検知しやすくなります。

ご注意

マイクロ波センサーユニットの取り付け場所を変更したときは、監視エリアの調整が、再度必要となる場合があります。(39ページ参照)

フラッシュユニット(車載機)

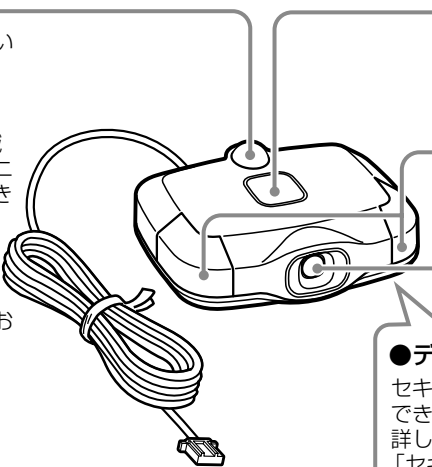
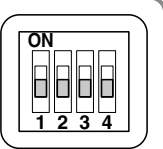
●ステータスインジケータ
スタンバイ時間(37ページ)中は速い点滅(1秒間に2回)をします。監視中はゆっくり点滅(2秒間に1回)します。
セキュリティ作動中の点滅動作(点滅させる/点滅させない)は、メインユニットのディップスイッチNo.7で設定できます。
動作を変更する際は、取付店にご依頼ください。
また、各設定状態(33~37ページ)や警報履歴(29ページ)を点滅してお知らせします。

●MODEボタン
セキュリティ機能の各種設定や、リモコンの故障などでセキュリティを強制的に解除する場合に使用します。

●フラッシュランプ
異常を検知すると、点滅して不審者を威嚇します。

●ダミーレンズ

●ディップスイッチ(裏面)
セキュリティ機能の各種設定ができます。
詳しくは、32ページ「セキュリティ機能の設定」をご覧ください。



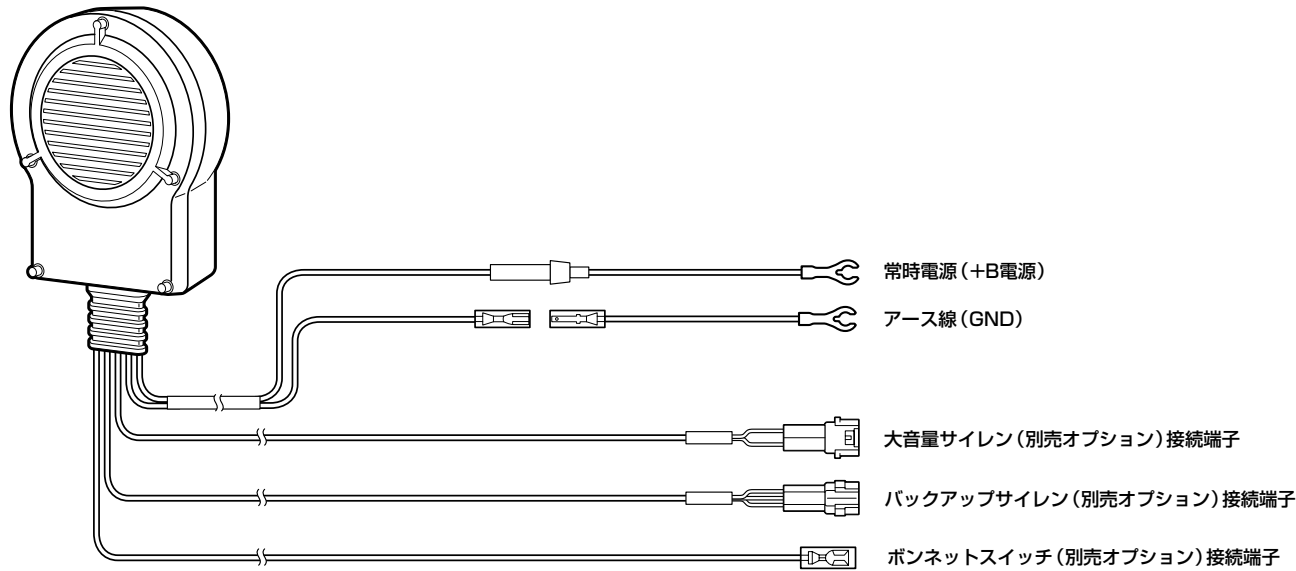
車外から良く見えるフロントダッシュ中央付近に貼り付けてください。

●貼り付け部分をあらかじめクリーニングし、チリや汚れ、脂分などをよく落としてから付属のマジックテープで貼り付けてください。

ボイスユニット(車載機)

エンジンルーム内に取り付けられる無線式(電源ライン伝送)のボイスユニットです。接続線を車室内に引き込むことなく、車輦のバッテリーと接続するだけで、警告、警報を発します。

別売の大音量サイレン：A-26SF、バックアップサイレン：A-27SF、ボンネットスイッチ：A-29SFを車室内に引き込むことなく、簡単にシステムアップできます。



警告、警報の定義

本書は警告、警報を以下の定義で記載しています。

警告

警告は、「車輦への接近」、「覗き込み」、「弱い衝撃」を検知した場合の音または音声です。

『ピッ』または音声などで、車輦への接近に注意を促すとともに、セキュリティの存在を知らせて、犯行を未然に防止します。

警報

警報は、「ドアを開ける」、「車内に侵入する」、「ガラスを割る」、「強い衝撃」、「ジャッキアップ ※」、「ボンネットの開閉 ※」を検知した場合の動作です。

サイレンを鳴らして、車輦の異常を周囲に知らせます。

※はオプションです。

警告・警報時には、フラッシュユニットやハザードランプが点滅して、威嚇の効果を高めます。

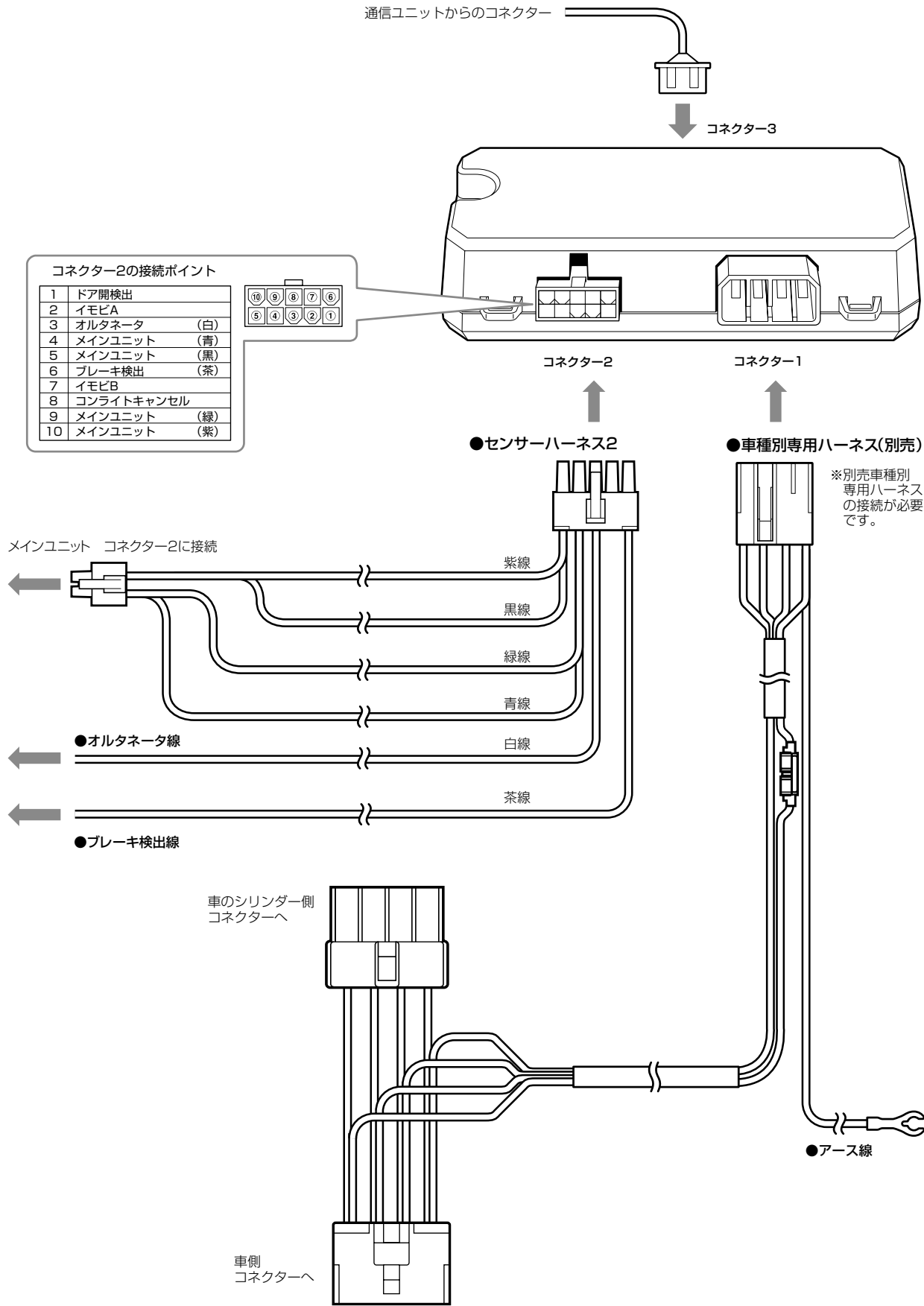
➡ 26ページ「異常を検知したときの警告と警報動作」

通報

異常があったことをリモコンにお知らせする動作です。

スターターユニット (車載機)

VE-S8000のみの付属品です。

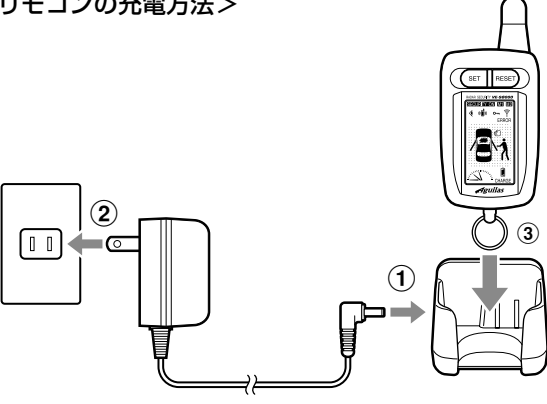


ご使用前の準備

リモコンを充電する

初めてご使用になる場合は、下記リモコンの充電方法に従って充電を行ってください。

＜リモコンの充電方法＞



- ACアダプターのコネクターをクレードルのDCジャックに差し込む
- ACアダプターをAC100Vコンセントに差し込む
- リモコンをクレードルに差し込む
※奥まで完全に差し込んでください。
- CHARGE アイコンが点灯したことを確認する
※CHARGE アイコンは約3秒後に点灯します。
- 約8時間で充電が完了します。8時間を目安にリモコンをクレードルから取り出す。
※ACアダプターをコンセントから抜いてください。

ポイント

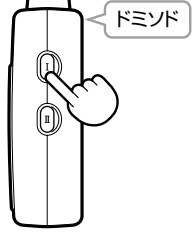
- 約8時間を目安に充電を行ってください。
- 市販のニッカド電池やニッケル水素電池を装着しても充電できません。

警告

市販のマンガン電池やアルカリ電池を装着して、充電をしないでください。爆発や発火の危険があります。

リモコンの電源をONにする

- ① ボタンを、『ドミソド』と鳴るまで5秒以上押す



●電源をOFFにするには
リモコンの電源がONの状態、上記①の操作を行うとリモコンの電源をOFFにできます。

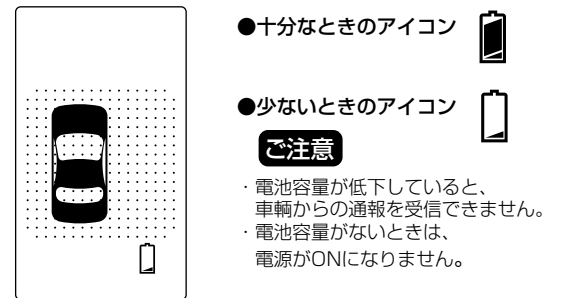
- ② すべてのアイコンを点灯後、セキュリティ状態や機能を示すアイコンを点灯します。(バックライトが約1秒間点灯します)

ご注意

車載機との通信を行いますので、電源投入後約8秒間はボタン操作を受け付けません。

バッテリー残量表示を確認する

ディスプレイのバッテリー残量表示を確認してください。



ポイント

- リモコン操作を行ったとき、ローバッテリー通知音『ブブッ』が鳴り、ディスプレイのバッテリー残量表示が「少ないときのアイコン」を点灯します。このようなときは、電池容量が低下していますので、速やかに充電を行ってください。
- 本機リモコンは付属の専用ニッケル水素電池以外でも、市販の単4型乾電池をご使用になれます。

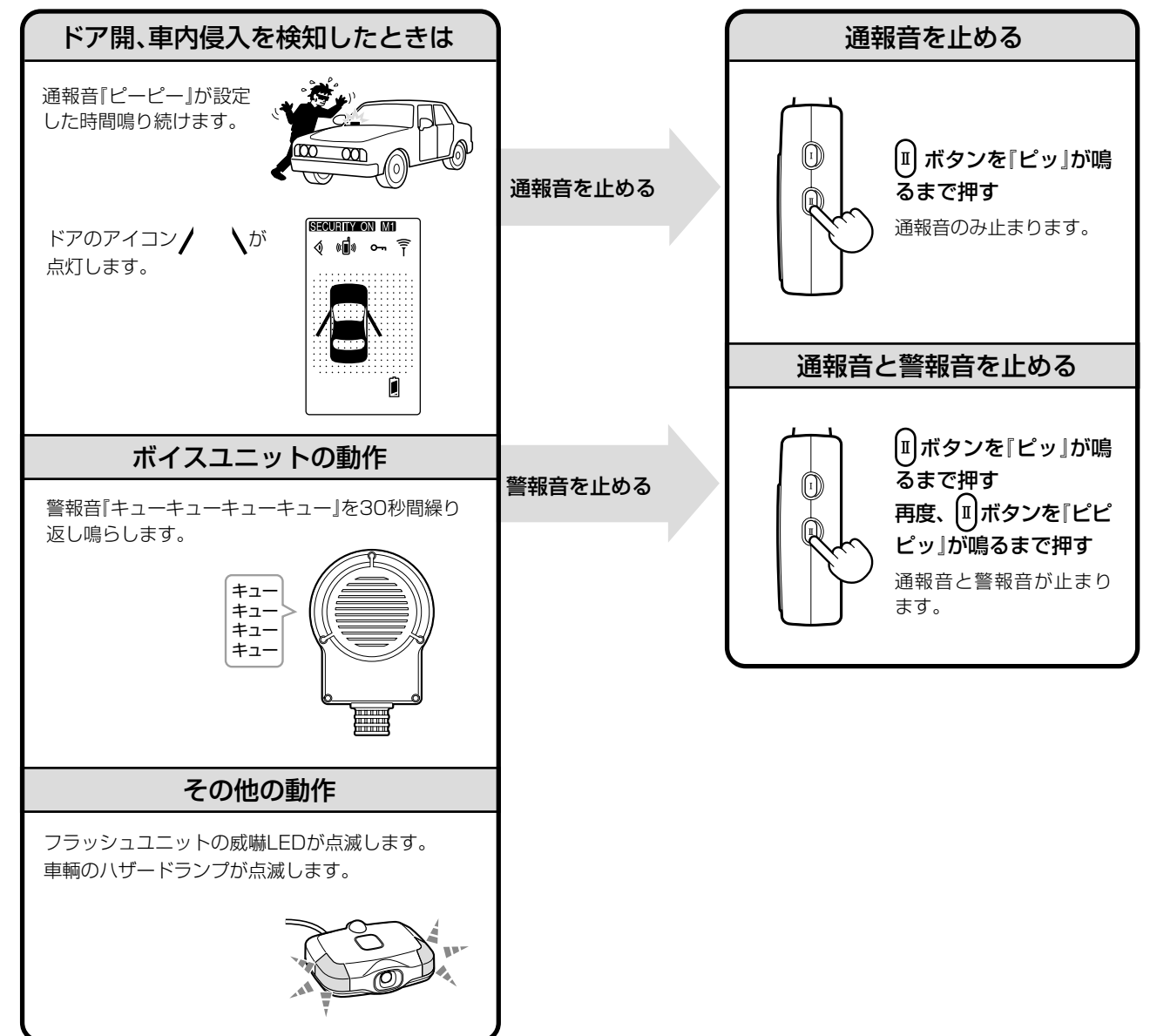
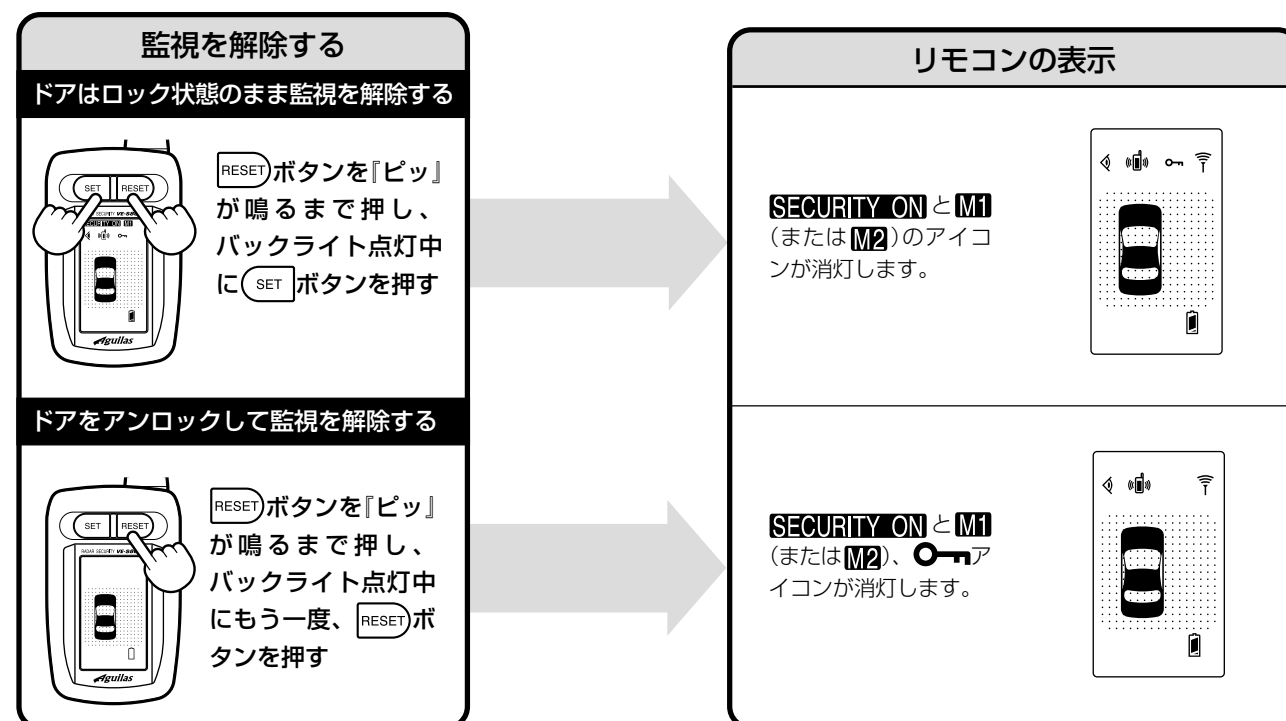
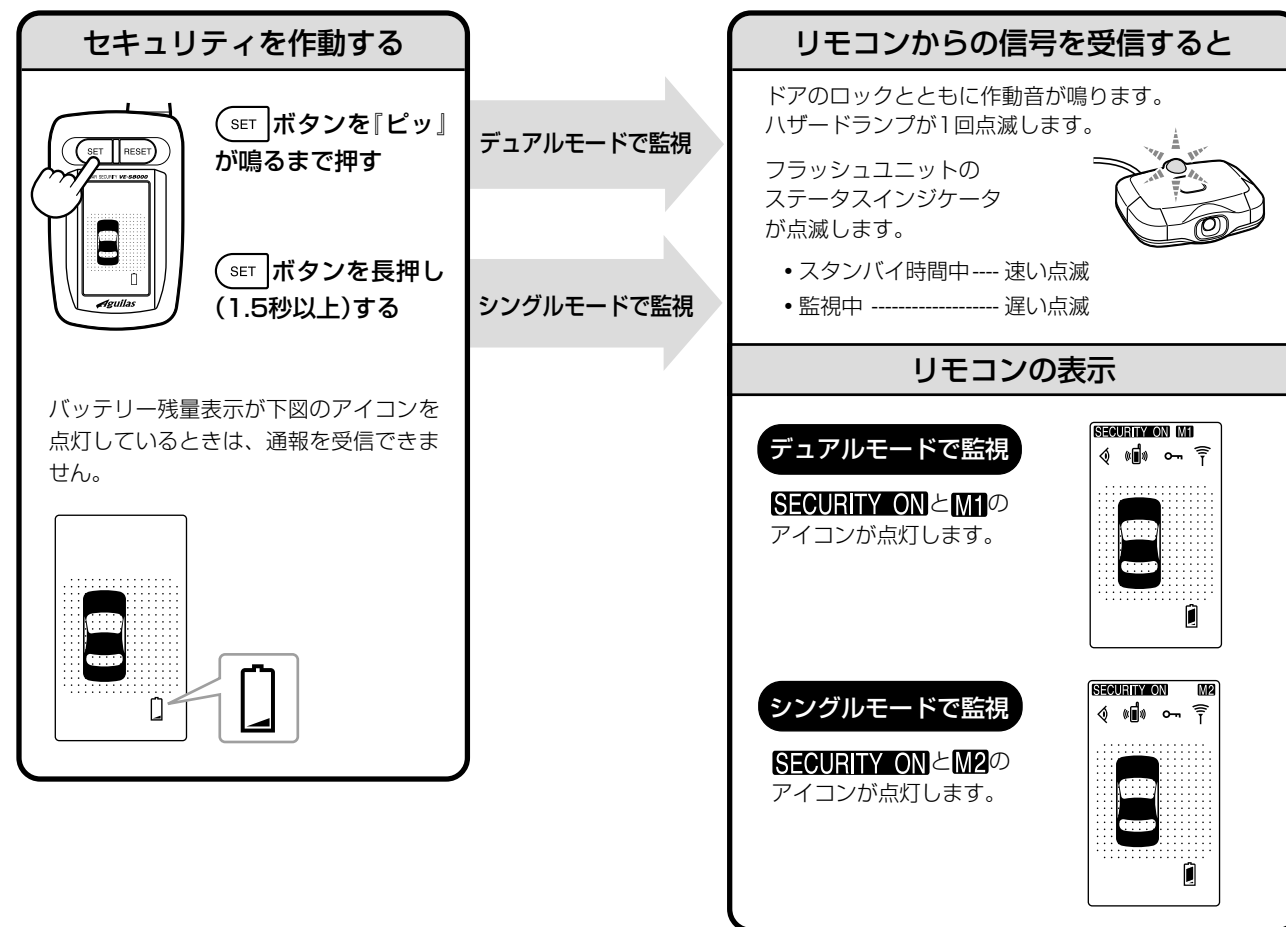
	使用可能時間(目安)
付属の専用ニッケル水素電池 (650mAh)	168時間
単4型マンガン電池	72時間
単4型アルカリ電池	336時間

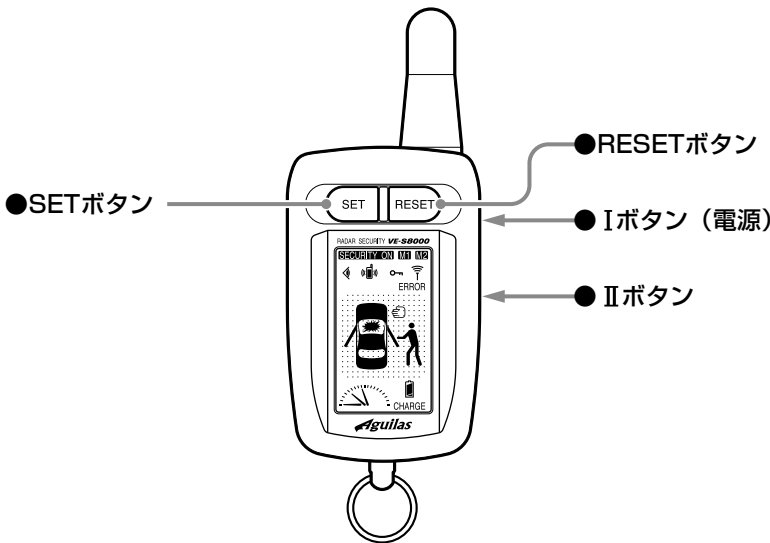
※使用可能時間の目安は、最大時間の目安を示したもので、監視中の通報がなかった場合の時間となります。

セキュリティ作動～警報～解除までの流れ

セキュリティ作動から警報、解除までの大まかな流れは以下のようになります。
詳しい操作方法や動作は 22ページから29ページをご覧ください。

警報動作はドア開、車内侵入を想定した動作を記載しています。





	最初に操作 するボタン	2番目に操作 するボタン	関連ページ
電源のON/OFF	I	5秒以上押す	➡ 17ページ「リモコンの電源をONにする」
デュアルモードで監視+ドアロック	SET		➡ 22ページ「ドアをロックする」
シングルモードで監視+ドアロック	SET	長押し(1.5 秒以上)	➡ 22ページ「ドアをロックする」
ドアロックのみ(監視しない)	I	I	➡ 22ページ「ドアをロックする」
監視解除(ドアロック状態のまま)	RESET	SET	➡ 28ページ「監視を解除する」
監視解除+ドアアンロック	RESET	RESET	➡ 28ページ「監視を解除する」
パニック警報を鳴らす	II	I	➡ 24ページ「パニック警報機能」
エンジン始動	II	SET	➡ 30ページ「エンジンスターター機能を使う」
エンジン停止	II	RESET	➡ 30ページ「エンジンスターター機能を使う」
接近通報機能のON/OFF	I	RESET	➡ 24ページ「接近通報機能」
電波監視機能ON/OFF	I	II	➡ 24ページ「電波監視機能」
通報音の停止		II	➡ 25ページ「通報音・警報音の停止(状態確認)」
状態確認(警報音の停止)	II	II	➡ 25ページ「通報音・警報音の停止(状態確認)」

ポイント

最初のボタン操作から、3秒以内に2番目のボタンを操作してください。

※ はVE-S8000のみの機能です。

送受信状態の表示

リモコンのアンテナアイコンで送信・受信の状態を確認できます。

送信状態の表示

アンテナアイコンが、内側から外側に順次点灯します。

受信状態の表示

アンテナアイコンが、外側から内側に順次点灯します。

通信エラーの表示

電波が届かない場合や本機接続に異常がある場合は、ERRORアイコンの点灯と通信エラー音『ピー』を鳴らして通信の異常をお知らせします。
このような場合は、本機接続に異常のないことをご確認のうえ、電波環境の良いところで操作を行ってください。

ポイント

- 送・受信中はリモコン操作ができません。
- 送・受信およびエラー表示中は、バックライトが点灯します。

リモコン使用時の注意とヒント

警告

車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

■ 安定した通信を行うために、次のことを守ってください。

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

■ 通信が正常に行われずにエラー音『ピー』が鳴ってしまう場合は以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- 車両(通信ユニット)とリモコンの間に障害物が無くなるような方向に車を駐車してください。障害物により電波が遮断されることがあります。

- リモコンは、垂直に立てて操作してください。

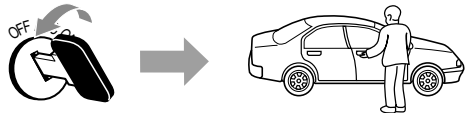
- リモコンの左側面を車両(通信ユニット)に向けて操作してください。通信距離が伸びることがあります。

- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリなどを付けていると、通信エラーが発生する場合があります。

ドアをロックする(セキュリティの作動)

ドアロック(セキュリティ作動)動作

駐車する
降車してドアを閉める



ドアをロックする

監視モード
の選択

デュアルモードで作動させ
ドアをロックする

シングルモードで作動させ
ドアをロックする

セキュリティを作動させ
ずにドアをロックする

リモコンの
操作

SET

ボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押す。

SET

ボタンをを長く(1.5 秒以上)押す。
確認音『ピッ』が鳴り、さらに押し続ける

I

ボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押し、バックライト点灯中(約3秒)にもう一度、

I

ボタンを押す。

リモコンから
信号を送る

送信音が鳴り、送信状態を表示します。
● 21ページ「送受信状態の表示」

	送信音
デュアルモードで監視していた場合	ドミソミド
シングルモードで監視していた場合	ドミソミン
セキュリティを作動させずに ドアをロックする	ドレミファソ

通信ユニットが信号を受信すると
(車 輛 の 動 作)

ドアをロックします。
● 23ページ「ドアロック連動」

フラッシュユニットのステータスインジケータが点滅します。(デュアルモードまたはシングルモードの操作を行った場合)
● 14ページ「フラッシュユニット(車載機)」

ハザードランプが1回点滅します。
● 33ページ「操作の確認方法」

作動音が鳴ります。
● 33ページ「操作の確認方法」

スタンバイ時間が経過すると監視状態になります。
(デュアルモードまたはシングルモードの操作を行った場合) ● 37ページ「スタンバイ時間」

リモコンに
動作の完了
を送る
(アンサーバック)

受信音が鳴り、受信状態を表示します。
● 21ページ「送受信状態の表示」

	受信音
デュアルモードで監視していた場合	ドミソミド
シングルモードで監視していた場合	ドミソミン
セキュリティを作動させずに ドアをロックする	ソファミレド

デュアルモードで監視

シングルモードで監視

セキュリティを作動させずに
ドアをロックする

リモコン
の表示

SECURITY ON M1
と M1、が点灯します。

SECURITY ON M2
と M2、が点灯します。

が点灯します。

リモコン
バックライト
点灯

アンサー
バック受信
後、約3秒
でバックラ
イトが消灯
します。

ご注意

・本機を作動させる際は、窓を完全に閉めて車内を密閉状態にしてください。すき間があると、気圧の変化を正しく検知することができずドア開警報が鳴りません。

・オープンカーでご利用の際は、ルーフを閉じた状態で本機を作動してください。ルーフが開いた状態ではドア開を検知できません。(ドアスイッチ接続線を接続してある場合は検知できます)

2つの監視モード

本機リモコンの SET ボタンの押しかたで、駐車環境に応じた監視ができます。

メモ

監視中に、SET ボタンの操作で、モードを変更することができます。

●デュアルモード…… SET ボタンを押す(1.5秒未満)

ご自宅の駐車場などで、セキュリティを作動する際にご使用いただくモードです。
お客様の設定に応じた監視動作を行います。

●シングルモード…… SET ボタンを長く押す(1.5秒以上)

車輦周辺の接近を検知しても、警告音を鳴らさない監視モードです。衝撃やドア開、車内侵入を検知した場合は、通常の警告・警報と通報を行います。車の往来や人通り多い公共駐車場などで、セキュリティを作動する場合にご使用ください。

ご注意

シングルモードで監視中は、接近を検知してもリモコンへの通報を行いません。

ドアロック連動

本機リモコン操作で、ドアロック/アンロックに連動して、セキュリティの作動/解除ができます。
また、セキュリティを作動させずにドアをロックすることや、ロック状態のまま監視を解除することができます。

メモ

本機リモコンでドアロックすると、アンロック後にロック動作を行う場合があります。これは、運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされない車輦があり、このような車輦でも、確実にドアをロックするための安全機構です。本機能を解除したい場合は取付店にご相談ください。

ご注意

ドアロック/アンロックを操作できない車輦があります。

ドアロック(セキュリティ作動)時の作動音

本機リモコンでセキュリティの作動またはドアロック操作を行うと、ボイスユニットから動作に応じた作動音を鳴らすことができます。作動音は単音/日本語ボイス/英語ボイスから選択できます。

- 33ページ「作動(解除)音・警報音の音色」
- 34ページ「言語選択」

	単音	日本語	英語
デュアルモードで監視	ピッ	セキュリティをセットしました	Security Armed
シングルモードで監視		ドアをロックしました	Locked Doors
セキュリティを作動させずに ドアをロックする			

接近通報機能

監視中の接近検知時の通報音を停止する機能です。
接近通報機能をOFF(《》アイコン消灯)にすると車輦への接近を検知した場合は、ボイスユニットから警告を鳴らしますが、ディスプレイには《》アイコンを表示するだけで、通報音を鳴らしません。

ポイント

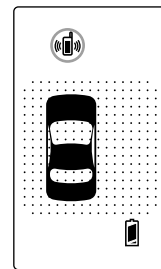
セキュリティ解除の状態でも、接近通報機能のONを表示しますが、接近通報機能は働きません。

接近機能のON/OFF切替操作

リモコンの操作

Ⅰ ボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押し、バックライト点灯中(約3秒)に  ボタンを押す。
接近通知機能のON/OFFが切り替わります。

リモコンの表示



- 接近時に通報音を鳴らす
…点灯させます。
- 接近時に通報音を鳴らさない
…消灯させます。

電波監視機能

監視中の妨害電波等による受信信号の遮断を、リモコンの妨害電波アラーム『ピーーー』が10秒間鳴り、お知らせします。

ポイント

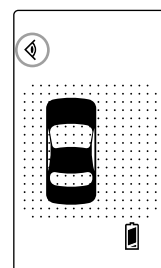
- ・電波監視機能は、充電中に限り動作します。電波監視機能をONにして、充電を行うと、アイコンが点滅して、電波監視機能動作中をお知らせします。
- ・周囲の電波状態が悪く、誤通報が鳴る場合は、窓際など電波の受信が安定している場所にリモコンを移動するか、妨害電波機能を停止してご使用ください。
- ・セキュリティ解除の状態でも、電波監視機能のONを表示しますが、電波監視機能は働きません。

電波監視機能のON/OFF切替操作

リモコンの操作

Ⅰ ボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押し、バックライト点灯中(約3秒)に Ⅱ ボタンを押す。
電波監視機能のON/OFFが切り替わります。

リモコンの表示



- 電波監視ONにしたいとき
…点灯させます。
- 電波監視OFFにしたいとき
…消灯させます。

パニック警報機能

任意に車輦(ボイスユニット)の警報を鳴らすことができます。

ポイント

セキュリティ作動・解除に関わらず、パニック警報を鳴らすことができます。

パニック警報操作方法

リモコンの操作

Ⅱ ボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押し、バックライト点灯中(約3秒)に Ⅰ ボタンを押す。
パニック警報を止める場合は、通報音・警報音の停止操作を行ってください。
➡ 25ページ「通報音・警報音の停止(状態確認)」

異常の検知と通報時のディスプレイ表示

本機は監視中に次のような行為が行われると、リモコンに通報し、以下の動作をします。

ポイント

- ・通報表示はリモコンのボタン操作を行うまで点灯します。(着信履歴)
- ・着信履歴は通報レベルの最も高い履歴を表示します。
通報レベル 接近<弱衝撃<強衝撃<ドア開・車内侵入

接近の検知

車外監視エリアで、人の動きを検知した場合を接近検知と判断し警告動作を行います。

➡ 39ページ「監視エリアの調整方法」

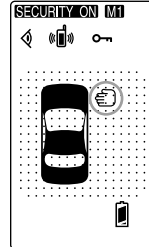
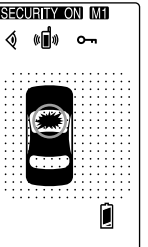
ポイント

- ・シングルモードで監視した場合は、通報音および表示はありません。
- ・接近通報がOFFの場合は、表示のみで通報音を鳴らしません。



衝撃の検知

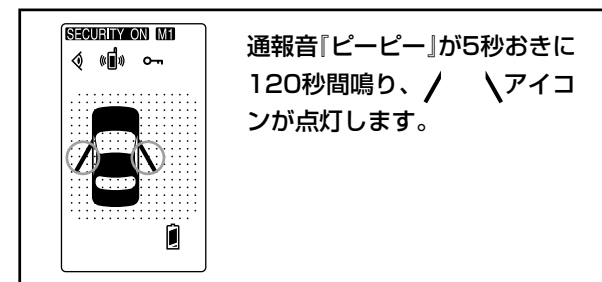
音圧センサーが、衝撃音の大きさで、強・弱の衝撃を判断し、弱い衝撃は警告動作、強い衝撃は警報動作を行います。

●弱い衝撃を検知したとき	●強い衝撃を検知したとき
 通報音『ピピッ』が鳴り、アイコンが点灯します。	 通報音『ピピピッ』が5秒おきに120秒間鳴り、アイコンが点灯します。

ドア開・車内侵入の検知

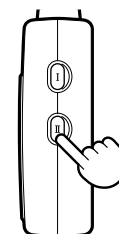
ドア開の検知や車内監視エリアで、人の動きを検知した場合を侵入検知と判断し警報動作を行います。

➡ 39ページ「監視エリアの調整方法」



通報音・警報音の停止(状態確認)

通報音・警報音(車輦のサイレン音)は、右記の手順で停止できます。



●通報音と警報音の停止(状態確認)	●通報音のみ停止
警報が鳴っている時以外は、以下の操作で監視状態を確認できます。また、VE-S8000はエンジンのアイドリングまたは停止の状態を確認できます。	リモコンの通報音のみを停止できます。警報音(車輦のサイレン音)は止まりません。
リモコンの操作	リモコンの操作
Ⅱ ボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押し、バックライト点灯中(約3秒)にもう一度、Ⅱ ボタンを押す。	Ⅱ ボタンを押す。

ポイント

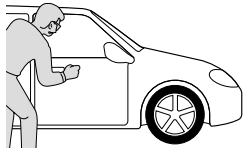
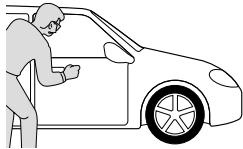
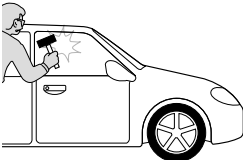
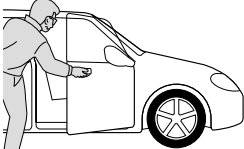
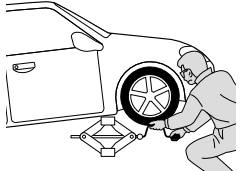
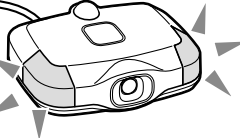
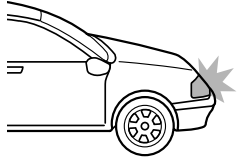
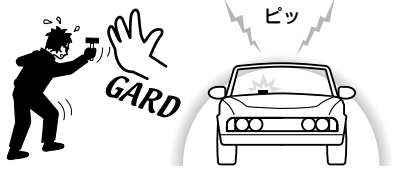
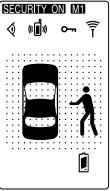
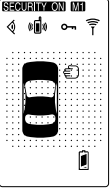
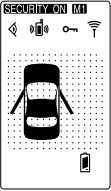
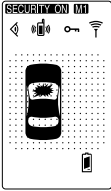
- 通報音・警報音はセキュリティの作動、解除、ドアロック操作のいずれの操作でも停止できます。
- ➡ 22ページ「ドアをロックする(セキュリティの作動)」
- ➡ 28ページ「ドアをアンロックする(セキュリティの解除)」

異常を検知したときの警告と警報動作

監視中に車輛への接近、衝撃、ドア開などの異常を検知したときには、次のような警告・警報をボイスユニットから発します。

※警報音は車室内のメインユニットとボイスユニットから鳴ります。

※下記は、初期設定での動作を示したものです。
※  は、シングルモードで監視した場合の動作です。

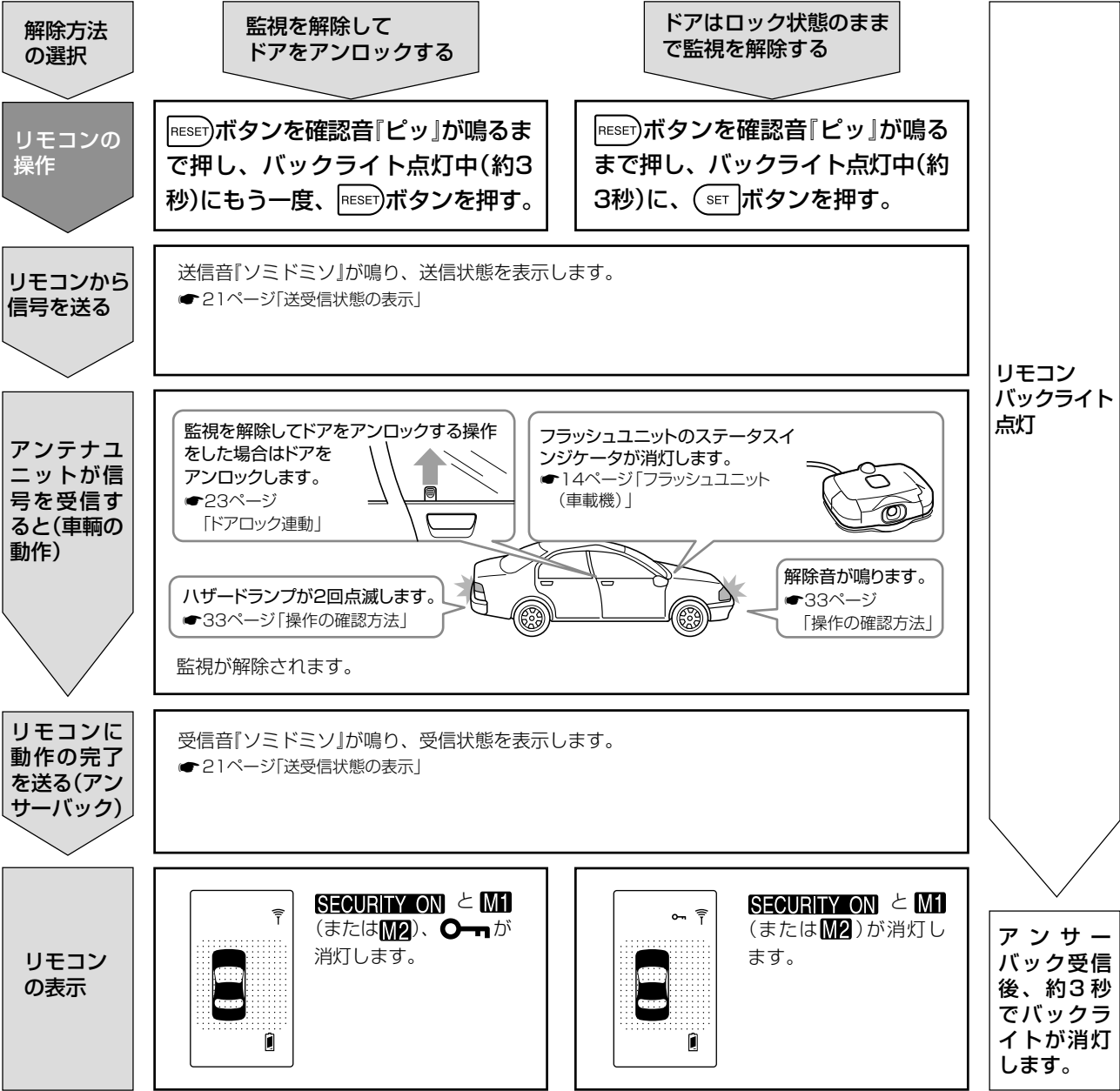
	警 告			警 報			
	車輛への接近 ※ 誤動作判別精度(36ページ参照)で「精度高」または「最高精度」を選択している場合は、接近検知があっても警告を鳴らしません。 	車輛周辺でのうろつき 	小さな衝撃 	大きな衝撃 (ウィンドウの破壊など) 	ドアを開けられたとき/ 車内に侵入されたとき 	傾斜検知 (別売オプションA-28SF: 電子傾斜センサー接続時) 	ボンネットを開けられたとき (別売オプションA-29SF: ボンネットスイッチ接続時) 
フラッシュランプ 警告時のフラッシュランプ点滅を停止することもできます。  ☛ 34ページ「威嚇方法」	1回点滅	2回点滅	2回点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	
ハザードランプ 警告・警報動作ごとにハザードランプの点滅・停止を設定できます。  ☛ 35ページ「ハザードランプ点滅設定」				警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	
警告音 警告音の音色を変えることができます。  ☛ 33ページ「作動(解除)音・警告音の音色」	「ピッ」	「ピピッ」	「ピピッ」				
警報音 警報時間や警報音の音色、音量を設定できます。 ☛ 35ページ「警報時間」 ☛ 35ページ「警告音・警報音の音量」 ☛ 36ページ「警報音の音色」 別売オプションA-26SF：大音量サイレンやA-27SF：バックアップサイレンを接続していると、ボイスユニットの警報音とともにオプションの大音量サイレンやバックアップサイレンを鳴らし、より効果的な威嚇ができます。				『キューキュー』が30秒間	『キューキューキューキュー』が30秒間	『キューキュー』が30秒間	『キューキューキューキュー』が30秒間
リモコンの表示							※ リモコンへの通報はありません。

リモコンの操作方法

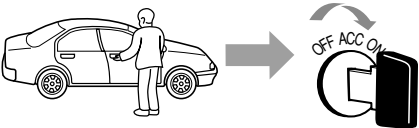
リモコンの操作方法

ドアをアンロックする(セキュリティの解除)

監視を解除する



乗車して、エンジン
キーをACCにする



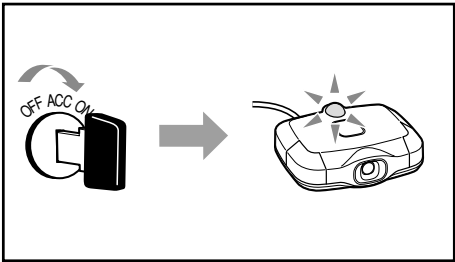
ポイント

本機リモコンでドアアンロック操作後、20秒経過してもドアの開閉やエンジンキーがACCにならないと、再度ドアロックするとともに、セキュリティを作動させるリロック機能を備えています。リロック機能の設定・解除の変更は取付店にご相談ください。
また、リロック機能が動作した場合は、リモコンのディスプレイに **SECURITY ON** が表示されません。このような場合は状態確認操作を行ってください。

➡ 25ページ「通報音・警報音の停止(状態確認)」

警報履歴

セキュリティ解除後、エンジンキーをACCにすると、監視中の警報動作が行われた回数を、ステータスインジゲータの点滅回数とメインユニットのブザー音でお知らせします。



警報動作が行われた回数	ブザー音	ステータスインジゲータの点滅
0回	無音	点滅しない
1回	ピーピッ	1回点滅
2回	ピーピピッ	2回点滅
3回	ピーピピピッ	3回点滅
4回以上	ピーピピピピッ	4回点滅

緊急解除

セキュリティの解除は本機リモコンを使用して行いますが、リモコンの電池切れや故障など、万が一リモコンがご使用されない場合は、緊急解除操作でセキュリティを解除できます。

緊急解除操作手順

フラッシュユニットのMODEボタンを5秒以上
押し続ける



MODEボタンを押したまま、
エンジンキーをACCにする

セキュリティが解除されます。



別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場
合では、無線イモビライザーも解除されます。(キーでエン
ジンがかかることができます)

ご注意

緊急解除操作中または、その操作のためのドア開などは、異常事態と判
断して、警報が鳴ります。通常時にはご使用にならないでください。

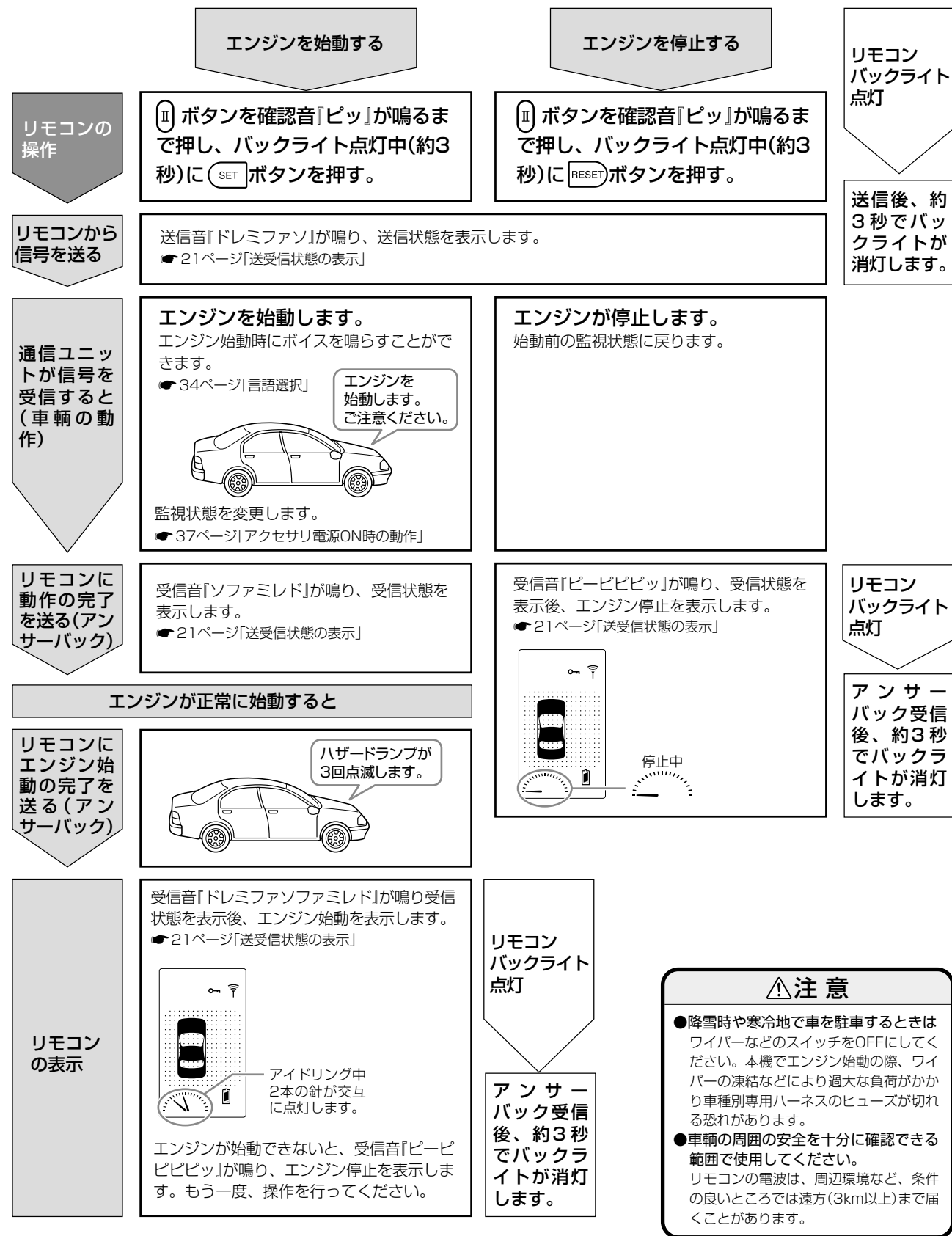
警報履歴の確認 (➡ 29ページ「警報履歴」)

エンジンスターター機能を使う(VE-S8000のみ)

VE-S8000は、エンジンスターター機能を搭載していますので、離れた場所から、エンジンの始動・停止ができます。

※エンジンキーを使用してエンジンを始動している場合、本機リモコンでエンジンの停止はできません。

エンジンスターター機能を使う



アイドリング中の動作

●動作音

本機エンジンスターター機能を使って、アイドリングを行っているときは、通信ユニットから動作音『ピッピッピッ』が連続して鳴り、本機でアイドリングを行っていることをお知らせします。

●監視動作

アイドリング中もセキュリティを解除することなく、監視を継続することができます。

☛ 37ページ「アクセサリ電源ON時の動作」

●停止

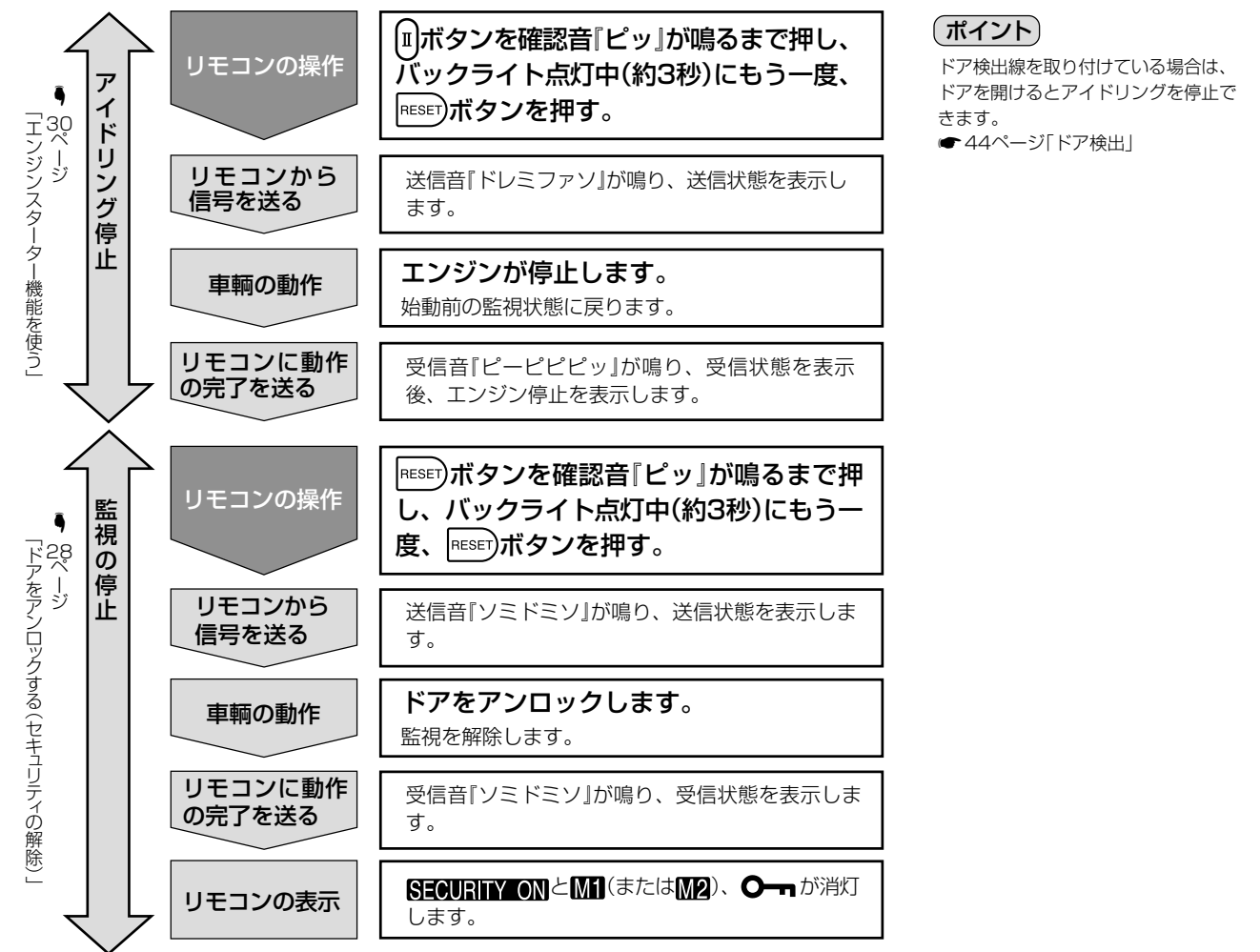
アイドリング中は、本機リモコンを使用して、いつでもアイドリングを停止することができます。また、アイドリング設定時間を経過すると、自動的にアイドリングを停止します。

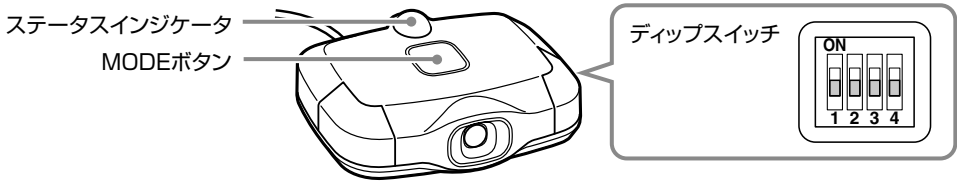
☛ 40ページ「アイドリング時間の設定」

アイドリング中の乗車

本機エンジンスターター機能を使って、アイドリングを行っているときに乗車する場合は、アイドリングを停止して、セキュリティを解除してから乗車します。

アイドリング中の乗車





設定を変更する

項目選択

動作選択

設定登録

手 順	設定例
フラッシュユニットのディップスイッチ配列を、本書33～37ページを参照して、設定する項目と同じ配列にする	作動音の音量を小に変更する場合 ディップスイッチを「ON」「OFF」「ON」「OFF」に配列する。
MODEボタンを押して設定を変更する MODEボタンを押すたびに設定動作が変更されます。メインユニットからの設定音と、ステータスインジケータの点滅回数で設定動作の状態を確認できます。希望する設定動作の設定音が鳴るまで、MODEボタンを数回押してください。	MODEボタンを1回押す。 メインユニットが「ピッ」と鳴り、ステータスインジケータが1回点滅します。
ディップスイッチを、すべてOFF側にする さらに他の項目を設定する場合は、続けてディップスイッチを設定したい項目の配列にあわせ、動作選択で行ってください。 ディップスイッチの配列を変更すると、動作選択で変更した設定動作が有効となります。	ディップスイッチをすべて「OFF」に配列する。

■オールリセット

項 目	ディップスイッチの配列
すべての設定を初期設定に戻します。	ディップスイッチ設定 ON ON ON ON 1 2 3 4

すべてのディップスイッチをONにすると『ピーピーピー』と確認音が鳴ります。
その状態で、MODEボタン押し続け、連続音『ピー』に変わったら、すべての設定が初期設定に変更されます。
↓
ディップスイッチをすべてOFFに戻してください。

■操作確認を変更する

項 目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 □：初期設定 ♪：設定音 ※：ステータスインジケータ
●操作の確認方法 セキュリティの作動/解除時の確認方法を選択できます。	ディップスイッチ設定 OFF ON OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 作動音のみ ♪ ピッ ※ 1回点滅 ↓ ハザードランプの点滅のみ ♪ ビピッ ※ 2回点滅 ↓ 作動音とハザードランプの点滅 ♪ ビビピッ ※ 3回点滅
●作動(解除)音の音量 セキュリティの作動/解除時の確認音量を選択できます。	ディップスイッチ設定 ON OFF ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す 音量 小 ♪ ピッ ※ 1回点滅 ↓ 音量 中 ♪ ビピッ ※ 2回点滅 ↓ 音量 大 ♪ ビビピッ ※ 3回点滅 ↓ 音量 最大 ♪ ビビビピッ ※ 4回点滅
●作動(解除)音・警告音の音色 セキュリティの作動/解除時と接近や弱衝撃を検知したときの警告音の音色を選択できます。 	ディップスイッチ設定 OFF OFF ON ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 作動時→ピッ (解除時→ビピッ) ♪ ピッ ※ 1回点滅 ↓ 作動時→ヒュ (解除時→ヒュヒュ) ♪ ヒュ ※ 2回点滅 ↓ 作動時→ギュイ (解除時→ギュイギュイ) ♪ ギュイ ※ 3回点滅 ↓ ボイス ♪ ビビビピッ ※ 4回点滅 ●34ページ「ボイスフレーズ一覧」

警告・警報のしかたを変更する

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□: 初期設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ)																								
●言語選択 確認音・警告音の音色設定で、ボイスを選択した場合は日本語もしくは英語のいずれかを選択します。 ☛ 33ページ「作動(解除)音・警告音の音色設定」	ON 1 2 3 4 ディップスイッチ設定 OFF ON ON ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 日本語 エンジンスターター始動時ボイスあり (VE-S8000または弊社エンジンスターターを接続している場合のみ始動ボイスが鳴ります) ♪ ピッ ※ 1回点滅 日本語 エンジンスターター始動時ボイスなし ♪ ピピッ ※ 2回点滅 英語 エンジンスターター始動時ボイスあり (VE-S8000または弊社エンジンスターターを接続している場合のみ始動ボイスが鳴ります) ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 英語 エンジンスターター始動時ボイスなし ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅																								
ボイスフレーズ一覧 <table><thead><tr><th></th><th>日本語フレーズ</th><th>英語フレーズ</th></tr></thead><tbody><tr><td>セキュリティの作動時</td><td>「セキュリティをセットしました」</td><td>「Armed Security.」</td></tr><tr><td>ドアロックのみ</td><td>「ドアをロックしました」</td><td>「Locked Doors.」</td></tr><tr><td>セキュリティの解除のみ</td><td>「セキュリティを解除しました」</td><td>「Disarmed Security.」</td></tr><tr><td>セキュリティの解除(アンロック)</td><td>「ドアをアンロックしました」</td><td>「Unlocked doors.」</td></tr><tr><td>接近検知時の警告</td><td>「接近を検知」</td><td>「Get a target lock on. Warning.」</td></tr><tr><td>うろつき・弱衝撃検知時の警告</td><td>「異常を検知」</td><td>「Warning. Intruder detection.」</td></tr><tr><td>エンジン始動時</td><td>「エンジンを始動します。ご注意ください」</td><td>「Caution! Engine start.」</td></tr></tbody></table> ご注意 エンジンスターター始動ボイスは、VE-S8000または弊社エンジンスターター接続時のみ動作します。				日本語フレーズ	英語フレーズ	セキュリティの作動時	「セキュリティをセットしました」	「Armed Security.」	ドアロックのみ	「ドアをロックしました」	「Locked Doors.」	セキュリティの解除のみ	「セキュリティを解除しました」	「Disarmed Security.」	セキュリティの解除(アンロック)	「ドアをアンロックしました」	「Unlocked doors.」	接近検知時の警告	「接近を検知」	「Get a target lock on. Warning.」	うろつき・弱衝撃検知時の警告	「異常を検知」	「Warning. Intruder detection.」	エンジン始動時	「エンジンを始動します。ご注意ください」	「Caution! Engine start.」
	日本語フレーズ	英語フレーズ																								
セキュリティの作動時	「セキュリティをセットしました」	「Armed Security.」																								
ドアロックのみ	「ドアをロックしました」	「Locked Doors.」																								
セキュリティの解除のみ	「セキュリティを解除しました」	「Disarmed Security.」																								
セキュリティの解除(アンロック)	「ドアをアンロックしました」	「Unlocked doors.」																								
接近検知時の警告	「接近を検知」	「Get a target lock on. Warning.」																								
うろつき・弱衝撃検知時の警告	「異常を検知」	「Warning. Intruder detection.」																								
エンジン始動時	「エンジンを始動します。ご注意ください」	「Caution! Engine start.」																								
●威嚇方法 車輦への接近やうろつき、弱い衝撃を検知した場合の威嚇方法を選択できます。	ON 1 2 3 4 ディップスイッチ設定 ON ON OFF OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す 禁止 ♪ ピッ ※ 1回点滅 フラッシュユニットのフラッシュのみ ♪ ピピッ ※ 2回点滅 警告音のみ ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 警告音+フラッシュユニットのフラッシュ ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅																								

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□: 初期設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ)
●ハザードランプの点滅設定 異常検知時に車輦のハザードランプを点滅する/しないを選択できます。	ON 1 2 3 4 ディップスイッチ設定 OFF ON ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す すべての警告・警報でハザードランプの点滅を禁止する ♪ ピッ ※ 1回点滅 警告時のみハザードランプの点滅をする ♪ ピピッ ※ 2回点滅 警報時のみハザードランプの点滅をする ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 すべての警告・警報でハザードランプの点滅をする ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅
●警報時間 異常検知時の警報時間を選択できます。	ON 1 2 3 4 ディップスイッチ設定 ON ON ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す ワンショット警報機能 不審者の動きを検知した場合に、大音量の警報を連続して鳴らすことなく、ワンフレーズの短い警報を鳴らすことができます。不審者の動き等連続で異常を検知している場合には、短い警報が連続して鳴り、不審者を威嚇します。 ※警報音量は小になります。 ※通報音は25秒間鳴ります。 ♪ ピッ ※ 1回点滅 30秒間 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 60秒間 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 120秒間 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅
●警告音・警報音の音量 警告音・警報音の音量を選択できます。	ON 1 2 3 4 ディップスイッチ設定 OFF OFF ON OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す 音量 小 ♪ ピッ ※ 1回点滅 音量 中 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 音量 大 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 音量 最大 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅

各種設定方法

各種設定方法

■警告・警報のしかたを変更する

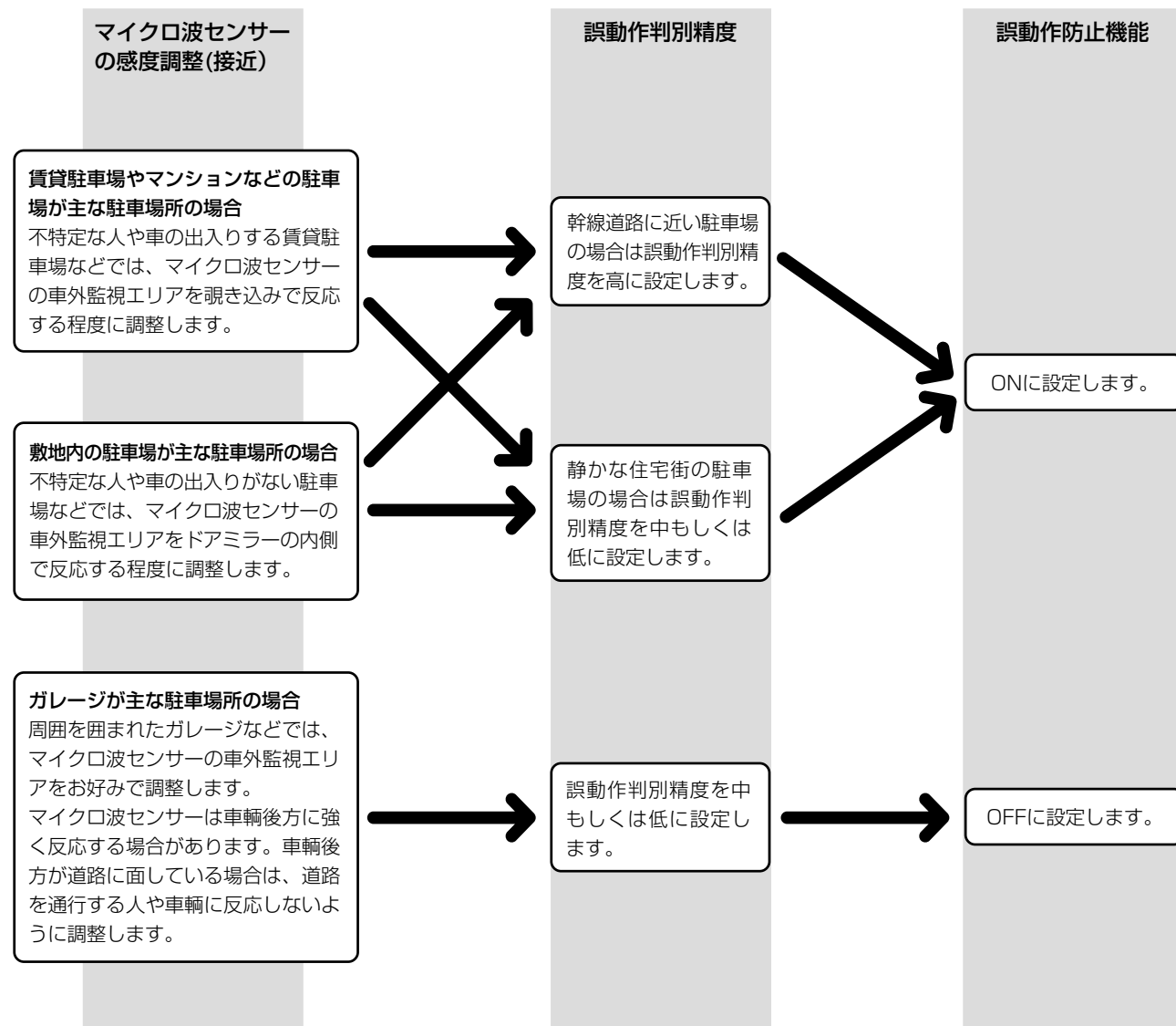
項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□: 初期設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ)
●警報音の音色 警報音の音色を選択できます。	 ディップスイッチ設定 ON ON OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す キュー ♪ キュー ※ 1回点滅 キュキュキュ ♪ キュキュキュ ※ 2回点滅 ピーポー ♪ ピーポー ※ 3回点滅 ギュインギュイン ♪ ギュインギュイン ※ 4回点滅
●誤動作判別精度 小動物その他による誤動作を低減できます。 ※ 接近警告、衝撃警告に誤動作がある場合は「精度高」を選択してください。「精度高」は接近警告・衝撃警告を「最高精度」と同じ判別で行います。また、警報に失報がある場合は、「精度低」を選択してください。「精度低」を選択しても、警告の精度は「精度中」と同じです。	 ディップスイッチ設定 ON OFF OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 最高精度 ♪ ピッ ※ 1回点滅 「最高精度」に設定する場合は、必ずドアスイッチ接続線をカーテン（ドアスイッチ）またはドアを開けたときに点灯するルームランプに接続してください。 精度高 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 精度中 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 精度低 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅 ※ 判別精度を低く設定すると、周囲の環境により誤警報する場合があります。環境に合わせて、判別精度を選んでください。
●誤動作防止機能 一定時間内に接近を3回検知すると、誤動作と判断し、接近警告・通報を行いません。接近を5分以上検知しない状態が続くと、通常の状態に復帰します。	 ディップスイッチ設定 ON OFF ON ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 誤動作防止機能ON ♪ ピッ ※ 1回点滅 誤動作防止機能OFF ♪ ピピッ ※ 2回点滅

■セキュリティの作動に関する設定

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 MODEボタンを押したとき の設定動作 (□: 初期設定 ♪: 設定音 ※: ステータスインジケータ)
●セキュリティの作動を開始する条件 セキュリティが作動できる条件を設定できます。	 ディップスイッチ設定 ON OFF OFF OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す 車両のアクセサリ電源がOFFの状態 でセキュリティを作動させる ことができます 通常はこのモードでご使用 ください。 ♪ ピッ ※ 1回点滅 エンジンキーの状態に関係なく、 セキュリティを作動させる ことができます ターボタイマーを併用する 場合はこちらのモードで ご使用ください。 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 セキュリティ作動をすべて禁止 車両の点検、整備の際は このモードに設定して ください。 ♪ ブッ ※ 消灯 ※エンジンキーの状態に関係なく、セキュリティを作動させる場合は、メインユニットのディップスイッチNo.3をONにしてください。
●スタンバイ時間 本機リモコンでセキュリティを作動させて（SETボタンを押す）から、監視にはいるまでの時間を選択できます。	 ディップスイッチ設定 OFF OFF OFF ON 1 2 3 4	MODEボタンを押す 10秒 ♪ ピッ ※ 1回点滅 60秒 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 3分 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 5分 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅 ターボタイマー併用時などは、アフターアイドル終了時間を想定して選択してください。 ※ターボタイマー併用時は、メインユニットのディップスイッチNo.3をONにしてください。
●アクセサリ電源ON時の動作 監視中にエンジンスタート動作を行った場合の監視方法を選択できます。	 ディップスイッチ設定 OFF ON OFF OFF 1 2 3 4	MODEボタンを押す セキュリティ監視を停止 ♪ ピッ ※ 1回点滅 ドアスイッチのみ監視状態 ※ドアスイッチ接続線の配線がない場合は、警報が鳴りません。 ♪ ピピッ ※ 2回点滅 マイクロ波+音圧またはドアスイッチによるドア開検出のみを監視 ♪ ピピピッ ※ 3回点滅 すべてのセンサーは監視状態にありますが、威嚇動作（フラッシュ、ハザード、警告）は停止します。 ※ドア開や強い衝撃を検知した場合は、警報（通報）動作を行います。 ♪ ピピピピッ ※ 4回点滅

最適な監視状態に調整(設定)する

本機は車輛の大きさや駐車環境に合わせて、最適な監視ができるようにマイクロ波センサー(接近、車内侵入の検知)・音圧センサー(弱衝撃、強衝撃、ドア開の検知)の感度調整や誤動作判別精度、誤動作防止機能などのアルゴリズム設定が可能です。



<音圧センサー>

特別な場合を除き調整の必要はありません。また、音圧センサー調整用ボリュームはメインユニットにありますので、調整が必要な場合は、取り付け店にご依頼ください。

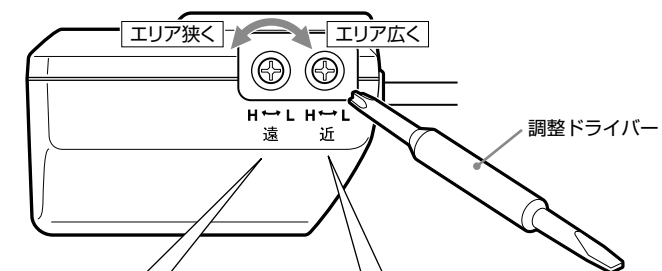
ご注意

上記は一般的なご使用条件を想定したもので、使用を制限したり動作を保障するものではありません。お客様がご使用になる際の目安としてご使用ください。

監視エリアの調整方法

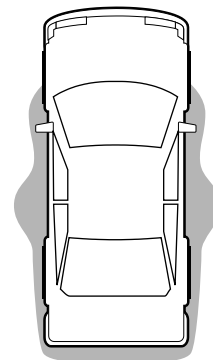
本機を初めて車輛に取り付けた場合は、取り付け車輛にあわせてマイクロ波センサーユニットの調整が必要です。

※付属の調整ドライバーを使用して調整してください。



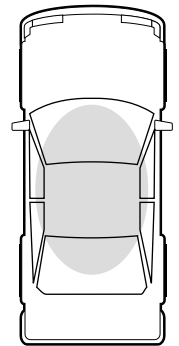
車外監視エリア(警告エリア)

車外監視エリアは車外検知が可能なエリアで、このエリア内の動きを接近と判別して警告します。一般的な乗用車の車外監視エリアは、右図のようなエリアとなることが多く見られます。監視エリアを設定する際は監視エリアの分布と駐車環境を考慮して、調整してください。
※車輛によって監視エリアの分布は異なります。



車内監視エリア(警報エリア)

車内監視エリアは車内検知が可能なエリアで、このエリア内での動きを車内侵入と判別して、警報を鳴らします。覗き込みでは警報が鳴らないように調整してください。



<車外監視エリアの調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(36ページ)を「精度中」(初期設定値)および誤動作防止機能(36ページ)をOFFに設定してから行ってください。「精度高」または「最高精度」を選択していると、車輛への接近では警告しません。

- ① セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと車に近づき、警告音「ピッ」が鳴ったところで停止し、監視エリアを確認する
車輛の左右、後方向から上記操作を行い、監視エリアの分布を大まかに把握します。チョークなどで印を付けておくと、わかりやすくなります。
- ② 監視エリアを広げる場合は、マイクロ波センサーユニットの「遠」ボリュームをサンバイザーに取り付けた状態で時計方向に回す
監視エリアを狭める場合は、「遠」ボリュームを反時計方向に回します。
- ③ 変更した監視エリアの分布を手順①で確認し、必要に応じて手順②の調整を行う

<オープンカーでご使用になる場合の調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(36ページ)を「精度中」(初期設定値)および誤動作防止機能(36ページ)をOFFに設定してから行ってください。「精度高」または「最高精度」を選択していると、車輛への接近では警告しません。

- ① ルーフを閉じる
- ② 車輛を覗き込むような動作で警告が鳴るように、「遠」ボリュームを徐々に時計方向に回す((感度を上げていく))
※車輛への接近で警告が鳴るように調整した場合、ルーフを開けて駐車すると、監視エリアが広がり誤動作の原因となります。ルーフを開けた状態で、車外監視エリアの広がりをご確認ください。

<車内監視エリアの調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(36ページ)を「精度低」で行ってください。
※車内監視エリアを広くしすぎると、車外の動きでも車内侵入と判断し、警報を発する場合があります。車外の動きで警報(サイレン)が鳴る場合は、エリアの設定を狭くしてください。

- ① セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと車に近づき、車輛のすべてのウィンドウから車内を覗き込み、警報が鳴らないことを確認する
警報が鳴る場合は、再度「近」ボリュームを反時計方向に少し回し、覗き込みで警報が鳴らないように調整してください。
- ② 車輛のドアを開け、ドアを開けたとき、または侵入動作(車内に乗り込もうとする動作)で警報が鳴ることを確認する
※車輛のすべてのドアで確認してください。
上記動作で警報が鳴らない場合は、「近」ボリュームを時計方向に少し回し、手順②から再度確認してください。
※ドアを開けたとき、または侵入動作(車内に乗り込もうとする動作)で警報が鳴るように調整すると、覗き込みで警報が鳴ってしまう場合は、ドアスイッチ接続線の接続が必要です。

<オープンカーでご使用になる場合の調整方法>

※調整する場合は誤動作判別精度(36ページ)を「精度低」で行ってください。

- ① ルーフを開ける
- ② 運転席および助手席の物を盗もうと腕を伸ばした状態で、警報が鳴るように「近」ボリュームを徐々に時計方向に回す(感度を上げていく)

エンジンスターターの設定 (VE-S8000のみ)

本機は車輛や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更さらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輛の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定 (設定には専門知識が必要です)

車にあった、セル時間を7段階から選択できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※初期設定値は1.0秒に設定されています。

ポイント

オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

設定値	設定音
0.7秒	ピッ
1.0秒	ピピッ
1.3秒	ピピピッ
1.5秒	ピピピピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を5段階から選択できます。

※初期設定値は10分に設定されています。

設定値	設定音
2分	ピッ
10分	ピピッ
15分	ピピピッ
20分	ピピピピッ
30分	ピー

グロー時間の設定

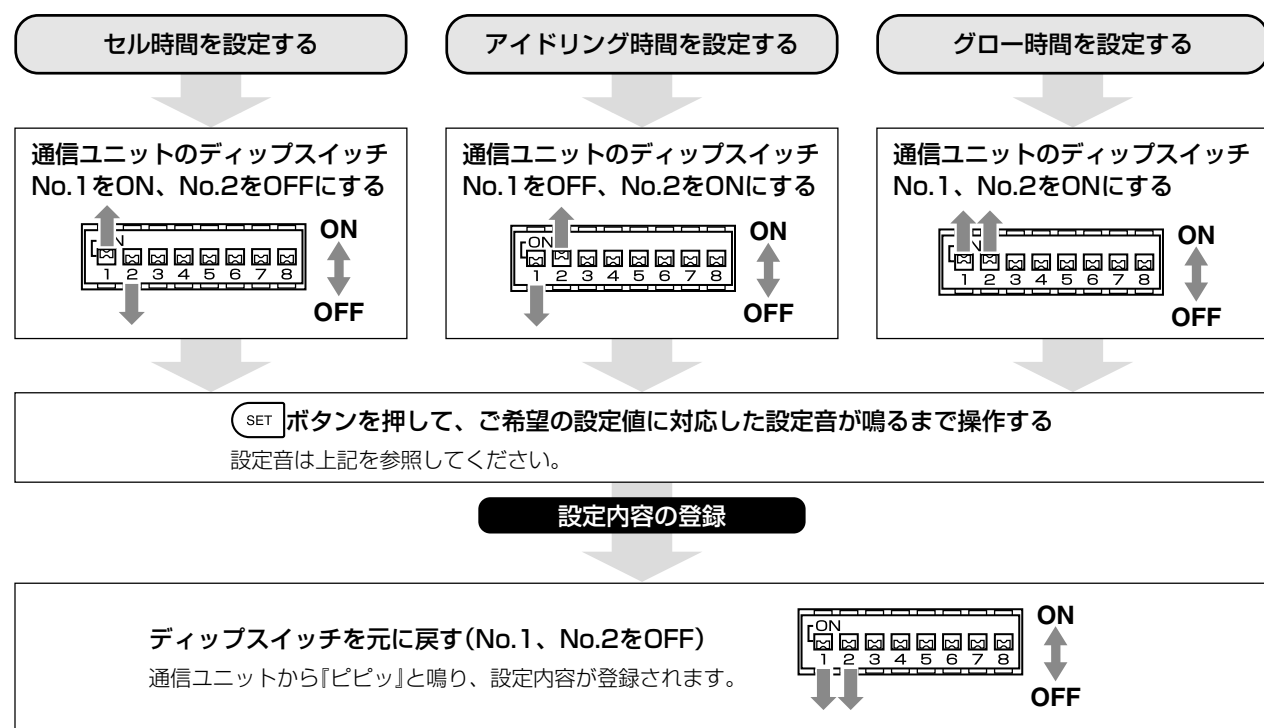
一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※初期設定値は5秒に設定されています。

ご注意

グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

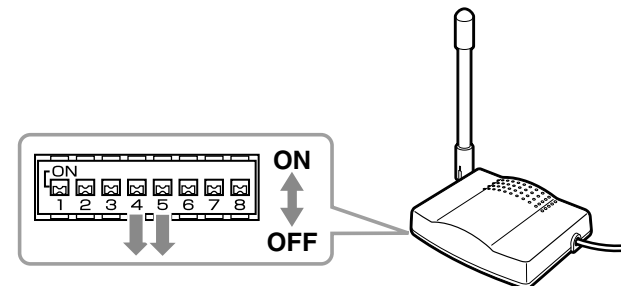
設定値	設定音
2.0秒	ピッ
3.0秒	ピピッ
5.0秒	ピピピッ
7.0秒	ピピピピッ
10.0秒	ピー



エンジン始動判定の設定 (設定には専門知識が必要です)

一部特殊な車輛においてエンジン始動判定(ディップスイッチNo.4、5)の設定が必要となる場合がありますが、通常は設定の必要はありません。

※初期設定は、No.4→OFF側 No.5→OFF側に設定されています。



※指定車以外で本設定を初期設定以外に設定しないでください。指定車以外で本設定を使用すると車輛故障につながる恐れがあります。指定車について詳しくは、最寄りの弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口(0564-45-6515)までお問い合わせください。

エンジンの始動について

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。

ターボタイマー機能 (VE-S8000のみ)

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドルを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を通信ユニットのディップスイッチNo.3で使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。
アフターアイドルの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能ON時の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドルを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。
また、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車輦でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■オート方式のアフターアイドル時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドル時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間はIG(イグニッション)ONからの時間をカウントしています。

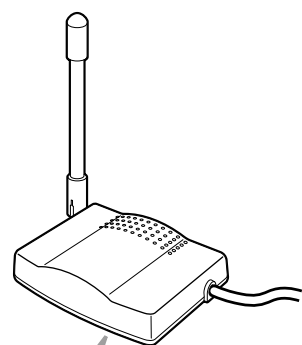
△注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。
このようなときは、ターボタイマー機能の設定を「OFF」にしてご使用ください。

※カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが動いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

通信ユニットのディップスイッチNo.3を設定することで、ターボタイマー機能のON/OFF設定ができます。



●No.3：ターボタイマー機能の設定

- ・使用する →ON
- ・使用しない→OFF

※初期設定OFF側に設定されています。

リモコンの電池交換

本機リモコンの専用ニッケル水素電池は、約2年を目安に新しい電池と交換してください。
なお、電池交換後はリモコンの電源がOFFになっていますので、リモコンの電源をONにしてからご使用ください。

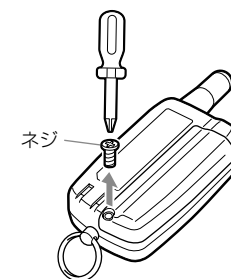
☛ 17ページ「リモコンの電源をONにする」

ポイント

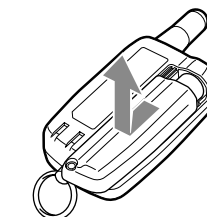
専用ニッケル水素電池のほかに、市販の単4型乾電池が装着できます。

☛ 17ページ「バッテリー残量表示を確認する」

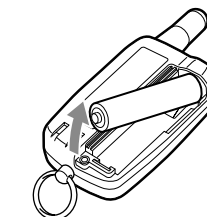
1 リモコンケース裏面のネジを外す



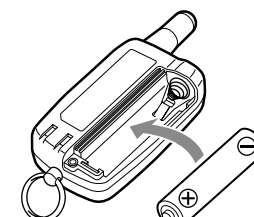
2 電池カバーを開ける



3 電池を取り出す

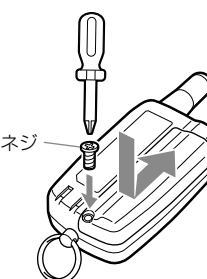


4 新しい電池を入れる



電池の向きに
注意してください。

5 ネジを締める



※ 電池の寿命は使用条件により大幅に異なります。連続使用時間が短くなったり、充電できなくなった場合は、お早めに交換してください。

＜交換電池品番：BEMH4YU＞

※ 専用電池のご注文は弊社商品の取り扱いのある販売店でお買い求めください。

※ 専用電池は取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

スリープモードについて

本機は、14日間エンジンを始動(ACCまたはONが検出されない)しないと、車のバッテリーの消耗を防ぐため、スリープモードが働きます。
スリープモードが働くと、本機の機能をすべて停止します。

＜スリープモードを解除するには＞

スリープモードを解除するときは、エンジンキーを使用して、ドアを開け、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
スリープモードが解除され、本機機能が作動できます。



※別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、本機のセキュリティ監視中に、スリープモードが働いても、無線イモビライザー機能は維持されます。

スリープモード状態からエンジンを始動するには(別売無線イモビライザー：A-23SFを接続している場合)

上記、エンジンキーを使用してスリープモードを解除し、ドアアンロック操作(監視を解除してドアをアンロックする)を行うと、エンジンを始動できるようになります。

➡28ページ「ドアをアンロックする(セキュリティの解除)」

安全機能について (VE-S8000のみ)

本機には、次の安全機能があります。

■P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のおきは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車輦では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※一部の車輦において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ドア検出

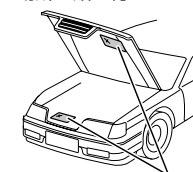
(別売のA-60使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)



⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておく、もしくは通信ユニットの接続ケーブルをスターターユニットから外してください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー(大)



ご注意ステッカー(小)

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。

通信ユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(P・ポジション自動検出機能の確認をしないと、本機は動作しません)

ご注意

エンジンスターター機能の設定(40～41ページ)内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

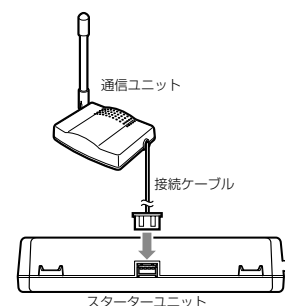
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認

接続が終わっても、スターターユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

本機はP・ポジション自動検出機能の確認をしないと、動作しません。
一部の車種では、P・ポジション自動検出できないものや、できにくいものがあります。

- 1 通信ユニットの接続ケーブルをスターターユニットに接続する
約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

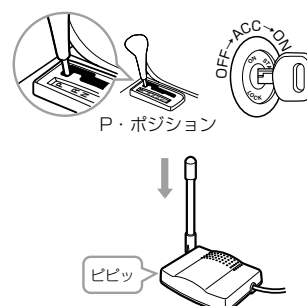
※ 確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。



P・ポジション自動検出ができない場合は47ページをご覧ください。

- 2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

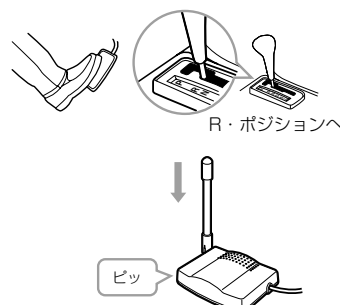
通信ユニットから約3秒後に『ピッ』という音が鳴ります。



- 3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える
通信ユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴ります。

P・ポジション自動検出機能を使用できることが確認できました。

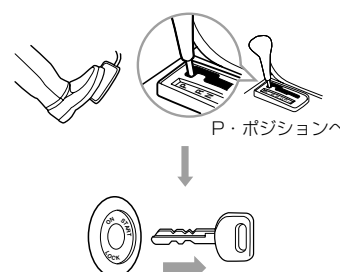
※ 何も音がしない場合は、P・ポジション自動検出機能は使用できません。
シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて47ページをお読みください。



- 4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻す

約2秒後に通信ユニットが『ピー』と鳴ることを確認し、キーを抜きます。

※ 何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



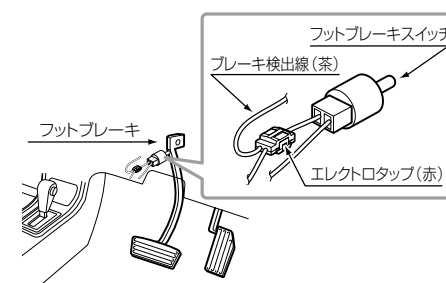
以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターター機能の設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

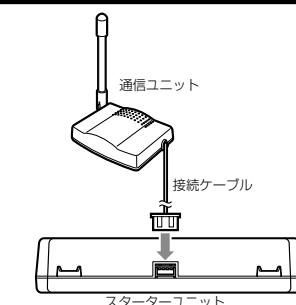
フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



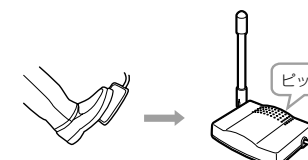
- 1 センサーハーネスを接続し、通信ユニットの接続ケーブルをスターターユニットに接続する



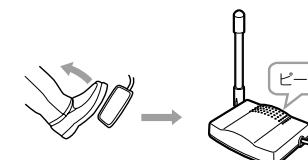
- 2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える



- 3 ブレーキペダルを踏む
通信ユニットが『ピッ』と鳴ります。



- 4 ブレーキペダルから足を離す
通信ユニットが『ピー』と鳴ります。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

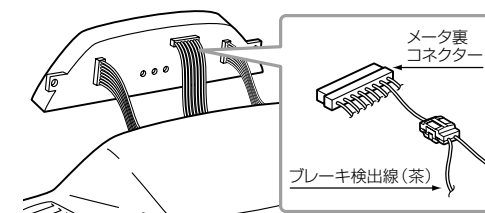
以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターター機能の設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケータランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、パーキング(P)以外で0Vまたはシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、パーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



スターターユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、「パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認」(46ページ)に戻ってP・ポジション検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報ダイヤルでご確認ください。

スペアリモコンの追加

別売スペアリモコンの登録や付属のリモコンを紛失や破損により新たに登録する際の設定手順です。

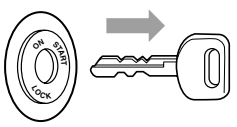
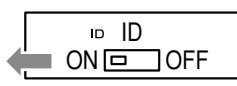
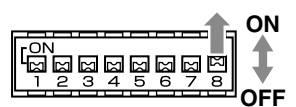
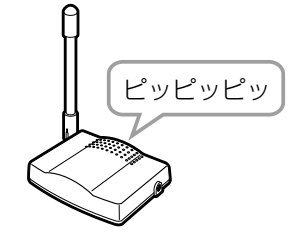
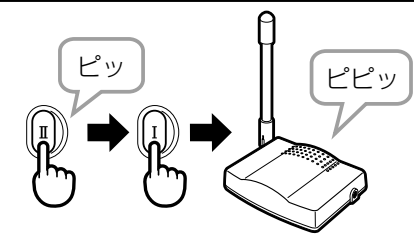
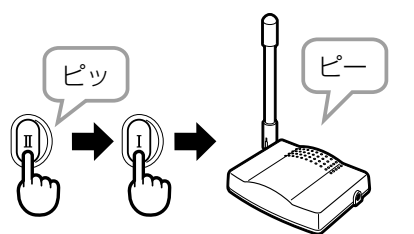
※付属のリモコンが故障または紛失した場合は、手順1～5までの登録を行い、ディップスイッチをOFFにしてください。

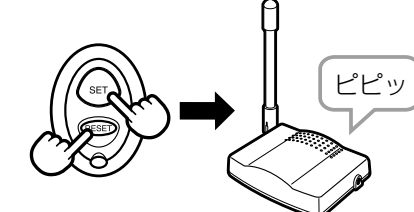
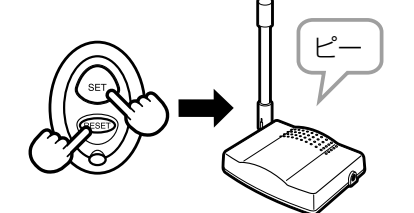
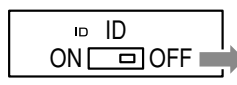
ポイント

付属のリモコンとスペアリモコンの1台ずつ(合計2台)を登録することができます。

ご注意

スペアリモコンを追加する場合は、スペアリモコンと付属のリモコンの両方を登録してください。

	VE-S3000	VE-S8000
準備	1 車のキーを抜き、車を駐車した状態にする 	
通信ユニットの操作	2 通信ユニットのスライドスイッチをONにする 	2 通信ユニットのディップスイッチ No.8をONにする 
通信ユニットとメインユニットの接続	3 通信ユニットの接続ケーブルをメインユニットに接続する。 すでに接続ケーブルが接続されている場合は、一度接続ケーブルを外し、つなぎ直す 通信ユニットから登録開始音『ピッピッピッ』が鳴ります。 	
付属のリモコンの操作	4 付属のリモコンのⅡボタンを操作確認音『ピッ』が鳴るまで押し、バックライトが点灯中にもう一度、Ⅰボタンを押す 通信ユニットから、確認音『ピピッ』が鳴ります。 	
付属のリモコンの操作	5 もう一度、手順4を繰り返す 確認音『ピー』が鳴ります。 ※確認音が鳴らない場合は手順4の操作からやり直してください。 	

スペアリモコンの操作	6 スペアリモコンのSETとRESETボタンを同時に通信ユニットから確認音『ピピッ』が鳴るまで押す 
スペアリモコンの操作	7 もう一度、手順6を繰り返す 確認音『ピー』が鳴ります。 ※確認音が鳴らない場合は手順6の操作からやり直してください。 
通信ユニットの操作	8 通信ユニットのスライドスイッチをOFFにする 
	8 通信ユニットのディップスイッチ No.8をOFFにする 

別売のスペアリモコン：A-111Sを使って、本機、セキュリティの作動や解除ができます。

セキュリティを作動する

ポイント

シングルモードで監視するには、リモコンの **SET** ボタンをボイスユニットから作動音が鳴るまで(約2秒間)押します。

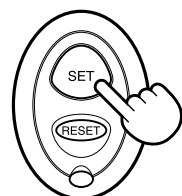
ご注意

スペアリモコンでセキュリティを作動した場合は、付属のリモコンで確認操作を行わないと、通報を受信できません。

➡ 25ページ「通報音・警報音の停止(状態確認)」

リモコンの操作

リモコンの **SET** ボタンを押す



微弱電波型リモコンのため
通信距離は最大約2mとなります。



通信ユニットが信号を認識すると…

セキュリティ作動音が鳴り、ステータスインジケータが速い点滅で動作し、セキュリティが作動します。
ドアをロックします。



ポイント

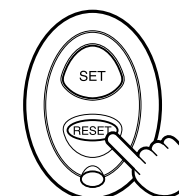
「ドアをロックする」の「通信ユニットが信号を受信すると(車輛の動作)」の動作を行います。

➡ 22ページ「ドアをロックする」

セキュリティを解除する

リモコンの操作

リモコンの **RESET** ボタンを押す



微弱電波型リモコンのため
通信距離は最大約2mとなります。



通信ユニットが信号を認識すると…

セキュリティ解除音が鳴り、セキュリティ解除とともに、付属のリモコンにセキュリティ解除を通知します。
ドアをアンロックします。

ポイント

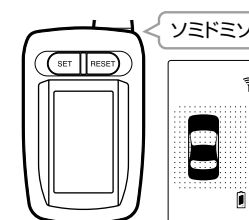
「監視を解除する」の「通信ユニットが信号を受信すると(車輛の動作)」の動作を行います。

➡ 28ページ「監視を解除する」



付属のリモコンが通信ユニットからの信号を受信すると…

付属のリモコン動作受信音が鳴り、**SECURITY ON** と **M1** または **M2** のアイコンが消灯します。



ご注意

• 電波の届かない場所や付属のリモコンの電源が入っていないと、通信ユニットの信号を受信できません。

• スペアリモコンには通知しません。

Aguilas VE-S8000/S3000は、次のようなオプションを接続することにより、独自のセキュリティシステムを構築することができます。

オプション単体では、自動車用盗難警告・警報装置として機能しません。

セキュリティオプション

無線イモビライザー：A-23SF

セキュリティ作動中、エンジンキーや模造キーではエンジンをかけられないようにして、車輛の盗難を防止します。本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能も解除されます。

※本機のアクセサリ電源線を車輛のイグニッションラインに接続した場合は、無線イモビライザーとの併用はできません。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、本機のセキュリティを作動(SET)後、スタンバイ時間中やスリープモードが働いた場合でも維持されます。
- セキュリティ作動中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。(アイドリングを開始すると、無線イモビライザー以外の機能は解除されます)

大音量サイレン：A-26SF

警報音を大音量(125dB)にできます。本機のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、警報音をパワーアップできます。最大音圧125dB

バックアップサイレン：A-27SF

警報音を大音量(125dB)にできます。さらにサイレンにバックアップ充電池を内蔵していますので、万一ボイスユニットの破壊やサイレンの切断があっても、警報を鳴らし続けることができます。本機のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、警報音をパワーアップできます。最大音圧125dB

※ボイスユニットの破壊やサイレンの切断時の警報音は6音色の警報が鳴ります。

電子傾斜センサー：A-28SF

セキュリティが作動したときからの傾斜角変化を検知します。傾斜地に駐車した場合などでも、正確に車輛の前後、左右1度以上の傾きを検知できます。タイヤ、ホイールの盗難防止、車輛の盗難防止に役立ちます。傾斜を検知すると警報音『キューキュー』が設定時間鳴り、フラッシュランプ、ハザードランプが連続して点滅します。

ボンネットスイッチ：A-29SF

ボンネットが開かれたことを検知します。本機付属のボイスユニットに接続するだけ(車室内への引き込みは不要)で、ボンネットの開閉を検知してサイレンを鳴らします。

※ボンネットスイッチが異常を検知した場合、全て警報となります。警告に設定することはできません。

ドアスイッチ接続線セット：A-30SF

車輛すべてのカーテシ(ドアスイッチ)に分岐するドアスイッチ接続線の4本セットです。

スペアリモコン：A-111S

セキュリティの作動や解除ができます。

※オプションの仕様は予告なく変更することがあります。詳しくはカタログをご覧ください。

警告

取り付けには専門知識が必要です。誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

VE-S8000専用オプション

コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車で使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。

※一部の車輛において、コンライトキャンセル機能が正常に動かない場合があります。

イモビ対応アダプター

(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)

車輛純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。本機取り付けにより、車輛のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※エンジンスターターでの始動を除いて、車輛純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

※イモビ対応アダプターは指定車種専用オプションです。ご使用になるアダプターが取り付け車の対応品であることをご確認ください。また、イモビ対応アダプターは順次対応予定です。最新情報は弊社ホームページまたは車種別専用ハーネス適応表でお確かめください。
●弊社HPアドレス <http://www.yupiteru.co.jp/>
●i-mode専用サイト <http://www.yupiteru.co.jp/i/>

ドア検出

(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くと、エンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)

※オプションの仕様は予告なく変更することがあります。詳しくはカタログをご覧ください。

警告

取り付けには専門知識が必要です。誤った取り付けは、機器を破損するばかりでなく、重大事故の原因となります。取り付けは、お買い上げの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

セキュリティ機能について

Q

セキュリティが作動しない。

A

- セキュリティの作動を開始する条件(➡37ページ)が「セキュリティの作動をすべて禁止」に設定されていませんか？
…セキュリティの作動を開始する条件(➡37ページ)を「セキュリティの作動をすべて禁止」以外に設定してください。
- スタンバイ時間が経過していますか？
…スタンバイ時間が経過するまで待つ。スタンバイ時間(監視モードに入るまでの時間)は10秒/60秒/3分/5分から選択できます。
➡37ページ「スタンバイ時間」
- 電池が消耗していませんか？
…バッテリー残量表示をご確認ください。➡17ページ「リモコンを充電する」
- 電池が正しく入っていますか？
…正しく電池をセットしてください。➡43ページ「リモコンの電池交換」
- 車と離れすぎていませんか？
…電波の届く範囲内でリモコンの操作を行ってください。
- 配線や接続が正しく行われていますか？
…メインユニットのアース線が塗装されていないビスなどに正しく接続されているか確認してください。
…アクセサリ電源(ACC)の青色線がキーと連動してON/OFFするアクセサリの電源に正しく接続されているか確認してください。
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
…バッテリーを充電するか、新品と交換してください。
- スリープモードが働いていませんか？
…一度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
➡44ページ「スリープモードについて」

Q

車輦へ接近しても、衝撃を与えても警告しない。

A

- 誤動作判別精度や監視エリアの調整が正しく設定されていますか？
…「最適な監視状態に調整(設定)する」(➡38ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。
- セキュリティが監視状態になっていますか？ セキュリティ作動後、監視に入るのは、スタンバイ時間(10秒/60秒/3分/5分)経過後です。
…セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後に動作を確認してください。➡37ページ「スタンバイ時間」
- スリープモードが働いていませんか？
…一度、エンジンキーをACCまたはONにしてください。
➡44ページ「スリープモードについて」

Q

車輦に接近しても、警告しない。

A

- シングルモード(M2 点灯)で監視していませんか？
… ➡23ページ「2つの監視モード」
- 誤動作防止機能が働いていませんか？
… ➡36ページ「誤動作防止機能」

Q

異常がないのに、警報が鳴る。

A

- 誤動作判別精度や監視エリアの調整が正しく設定されていますか？
…「誤動作判別精度」(➡36ページ)、「感度調整」(➡39ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。
- スタンバイ時間が、車に合わせて正しく設定されていますか？
…電動ファン搭載車やターボタイマーを取り付けている車でお使いになる場合は、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドルリング時間を見込んで、スタンバイ時間を設定してください。➡37ページ「スタンバイ時間」

Q

キーでエンジンがかからない。

A

- 無線イモビライザー機能が働いていませんか？(別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合)
…本機リモコンでセキュリティを解除してください。
別売オプションの無線イモビライザーを取り付けている場合は、本機リモコンでセキュリティを解除しないとキーでエンジンをかけることはできません。
➡44ページ「スリープモードについて」

リモコン動作について

Q

リモコンのボタンを押しても、送信表示しない。

A

- リモコンの電源がONになっていますか？
… リモコンの電源をONにしてください。
- 電池が消耗していませんか？
… バッテリー残量表示をご確認ください。➡17ページ「リモコンを充電する」
- リモコン操作を誤っていませんか？
… リモコンの操作方法をご確認ください。
➡22ページ「セキュリティ作動」
➡28ページ「セキュリティ解除」
➡30ページ「エンジン始動(VE-S8000のみ)」
➡30ページ「エンジン停止(VE-S8000のみ)」

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- 本書➡21ページ「リモコン使用時の注意とヒント」をご覧ください。
- 通信ユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- 通信ユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありませんか？
- リモコンにチェーンやカギ、金属性アクセサリなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。
- リモコンの左側を車輦に向けると電波が届きやすくなることがあります。

Q

送信はできるが、アンサーバックがない。

A

- 周囲の電波状況によっては、通信ユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
- リモコンの電池残量が少ないと、アンサーバックを表示しません。リモコンを充電してください。➡17ページ「リモコンを充電する」

Q

接近を検知しても、通報音が鳴らない。

A

シングルモードで監視していませんか？ ➡23ページ「2つの監視モード」

Q

異常を検知すると、車輦側の警告・警報は鳴るが、リモコンに通報しない。

A

リモコンが通報待ち受け状態(SECURITY ON が表示されている)になっていますか？ ➡25ページ「通報音・警報音の停止」

キーレスエントリー機能について

Q

ドアロック、アンロックが動作しない。

A

車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロックできない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でキーレス機能を使用できません。(初期設定)
※ドアロック機能の動作設定の変更は、取付店にご相談ください。
※本機設定にかかわらず、エンジンがかかっている状態でキーレス機能を停止する車輦があります。このような車輦では、エンジンを停止してから、キーレス機能をご使用ください。

Q

ドアをアンロックしても、しばらくするとロックしてしまう。

A

本機リモコンでドアアンロック操作後、20秒経過してもドアの開閉やエンジンキーがACCにならないと、再度ドアロックするとともに、セキュリティを作動させるリロック機能を備えています。リロック機能の設定・解除の変更は、取付店にご相談ください。

その他

Q

車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A

14日以上、車の利用がないと、スリープ機能により本機機能を停止して、電流消費を抑えます。
スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。キーを使用してACCにすると解除されます。
➡44ページ「スリープモードについて」

エンジンスターター機能について(VE-S8000のみ)

Q
リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(ERROR表示は出ない場合)

A
リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

- 受信表示しない
- キーでエンジンを始動していませんか？
 - 電池が消耗していませんか？
バッテリー残量表示をご確認ください。➡17ページ「リモコンを充電する」
 - 通信ユニットの接続ケーブルが外れていませんか？接続の確認をしてください。
 - スリープ機能が働いていませんか？➡44ページ「スリープモードについて」
 - 車と離れすぎていませんか？
 - パーキング(P)・ポジション自動検出ができていますか？
➡46ページ「パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認」
 - それぞれのコネクタースターターユニットにしっかり接続されていますか？

- 受信表示する
- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか？
 - 車のバッテリーが弱っていませんか？
 - キー操作でエンジンが始動しますか？
 - 通信ユニットが正しく設定されていますか？➡13ページ「通信ユニット」のディップスイッチ初期設定
 - それぞれのコネクタースターターユニットにしっかり接続されていますか？

ターボタイマー機能(VE-S8000のみ)

Q
ターボタイマーが働かない。

A
ターボタイマー機能はP・ポジション自動検出ができた場合、またはP・ポジションインジケータランプにブレーキ検出線を接続している場合で通信ユニットのディップスイッチNo.3をONに設定しているときに(➡42ページ)使用できます。
また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドルリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

Q
アフターアイドルリング時間が短い。

A
ターボタイマー機能は、シフトレバーがドライビング(D)ポジションからパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションに入った時点から電気的には開始されています。よって走行後、パーキングまたはニュートラルポジションからキーOFFまでの時間は、アフターアイドルリング時間としてカウントされます。

Q
気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A
気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。➡40ページ「セル時間の設定」

Q
エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A
エンジンの始動検出ができていないためです。
オルタネータ線を接続してください。

Q
通信ユニットを操作していたら、エンジンがかからなくなってしまった。

A
エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。

Q
付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A
ブレーキ検出線は、P・ポジション自動検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション自動検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります)
また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

始動エラー音について (VE-S8000のみ)

通信ユニットが以下のような始動エラー音を発しているときには、その処置方法に従って操作してください。
その他の処置方法が明記されていない始動エラー音につきましては、弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口にご相談ください。

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が動作しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時に通信ユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取付店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

始動エラー音	不具合の検出
ビビピッ	P・ポジションの検出ができていません。 (46ページ参照)
ピー ピー ビッピッピッ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常
ピー ビッ	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
ピー ピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
ピー ビッビッビッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピッ	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
ビビピッ ビッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ビビピッ ビッビッピッ	ドア制御中断時 ドア開検出

VE-S8000

■メインユニット

電源電圧	12V車専用(9～15V)
消費電流	スリープ時：約8.5mA 待機時：約31mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	127mm(W)×28mm(H)×87mm(D) (ケーブル含まず)
重量	144g(ケーブル含まず)

■スターターユニット

電源電圧	12V専用(9～15V)
動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	138mm(W)×28mm(H)×63mm(D) (ケーブル含まず)
重量	126g(ケーブル含まず)

■通信ユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
送信出力	10mW
動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	89.8mm(W)×59.7mm(H)×19.5mm(D) (ケーブル含まず)
重量	129g(ケーブル含む)

■マイクロ波センサーユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	37mm(W)×33mm(H)×52mm(D)
重量	84g(ケーブル含む)

■フラッシュユニット

動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	51mm(W)×14.5mm(H)×34mm(D)
重量	63g(ケーブル含む)

■ボイスユニット

最大音圧	サイレン：100dB/m ボイス：89dB/m
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	91mm(W)×113.5mm(H)×39mm(D)
重量	334g(ケーブル含む)

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
送信出力	10mW
使用電池	専用ニッケル水素電池(3.6V)
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	33mm(W)×55mm(H)×20.5mm(D) (アンテナ除く)
重量	47g(電池含む)

VE-S3000

■メインユニット

電源電圧	12V車専用(9～15V)
消費電流	スリープ時：約5mA 待機時：約28mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	127mm(W)×28mm(H)×87mm(D) (ケーブル含まず)
重量	144g(ケーブル含まず)

■通信ユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
送信出力	10mW
動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	89.8mm(W)×59.7mm(H)×19.5mm(D) (ケーブル含まず)
重量	128g(ケーブル含む)

■マイクロ波センサーユニット

適合技術基準	特定小電力無線局移動体検知センター用無線設備
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	37mm(W)×33mm(H)×52mm(D)
重量	84g(ケーブル含む)

■フラッシュユニット

動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	51mm(W)×14.5mm(H)×34mm(D)
重量	63g(ケーブル含む)

■ボイスユニット

最大音圧	サイレン：100dB/m ボイス：89dB/m
動作温度範囲	－40℃～＋85℃
寸法	91mm(W)×113.5mm(H)×39mm(D)
重量	334g(ケーブル含む)

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
送信出力	10mW
使用電池	専用ニッケル水素電池(3.6V)
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	33mm(W)×55mm(H)×20.5mm(D) (アンテナ除く)
重量	47g(電池含む)

※ 仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。(消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンの紛失、破損について

リモコンを紛失や破損したときは、弊社商品の取り扱いのある販売店で新たなリモコンをお買い求めいただけます。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

※新しいリモコンのご使用にあたっては、メインユニットにIDコードを登録する必要があります。詳しい手順は、48ページ「スベアリモコンの追加」をご覧ください。また、新たなリモコンを登録すると、今までご使用になっていたリモコンは使用できません。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。

また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

（取付、取扱方法に関するお問い合わせ）

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

電子メールでのお問合せ先 **service@yupiteru.co.jp**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
4. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
- (二) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄	

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※弊社営業所・サービス部は60ページをご覧ください。

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束するもの
です。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご提
示のうえ、お買い上げの販売店に修理
をご依頼ください。

品 番		VE-S8000/3000 (マイクロ波センサー搭載レーザーセキュリティ)	
S/No.			
お買い上げ日		年	月 日
保 証 期 間		お買い上げの日より1年	
お 客 様	お 名 前	様	
	ご 住 所	〒	
販 売 店	店 名 ・ 住 所	TEL.()	
		上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い 上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	

無効